

2027年3月期 個人投資家説明会



これまでの

TDK Transformation

これからの

TDK株式会社
IR・SRグループ
2026年6月10日

スマートフォンに使われているTDKの製品は、次のうちどれでしょう？

A リチウムイオン電池

D 高周波部品

G モーションセンサ

B インダクタ（コイル）

E 小型マイク

H NTCサーミスタ

C 磁気センサ

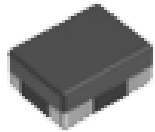
F EMCフィルタ

I チップバリスタ



主なスマートフォン向けTDK製品

正確な信号伝達を
実現する



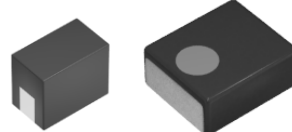
信号系EMCフィルタ

カメラの手振れ補正



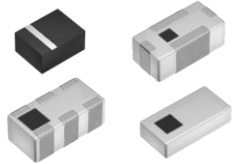
TMRセンサ
(磁気センサ)

安定した
電源供給を支える



電源回路用インダクタ

通信をサポートする



高周波部品

動きを読む



モーションセンサ
(MEMSセンサ)

電気を蓄える



小型二次電池

ノイズを除去する



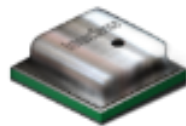
ノイズ除去シート

温度を検知して
機器の安全を守る



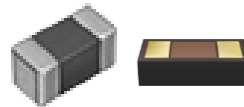
チップNTCサーミスタ

音声を正確に認識する

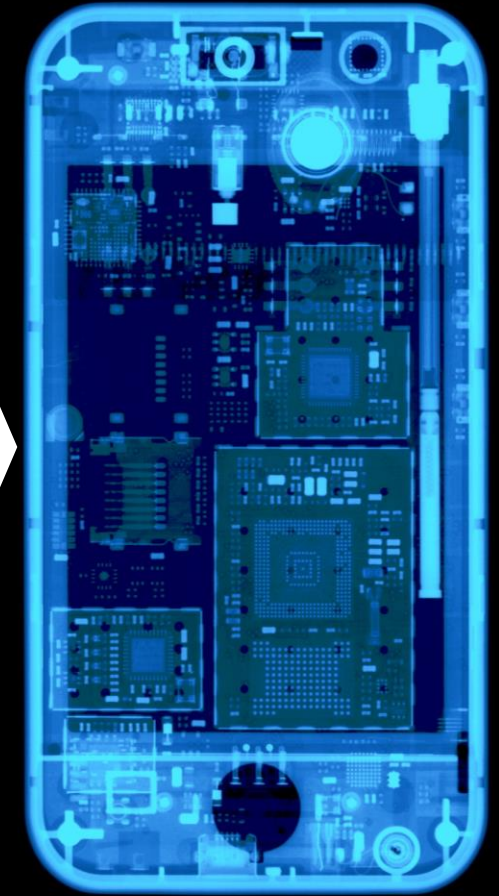


マイクロフォン
(MEMSセンサ)

静電気から機器を守る



チップバリスタ
TVSダイオード



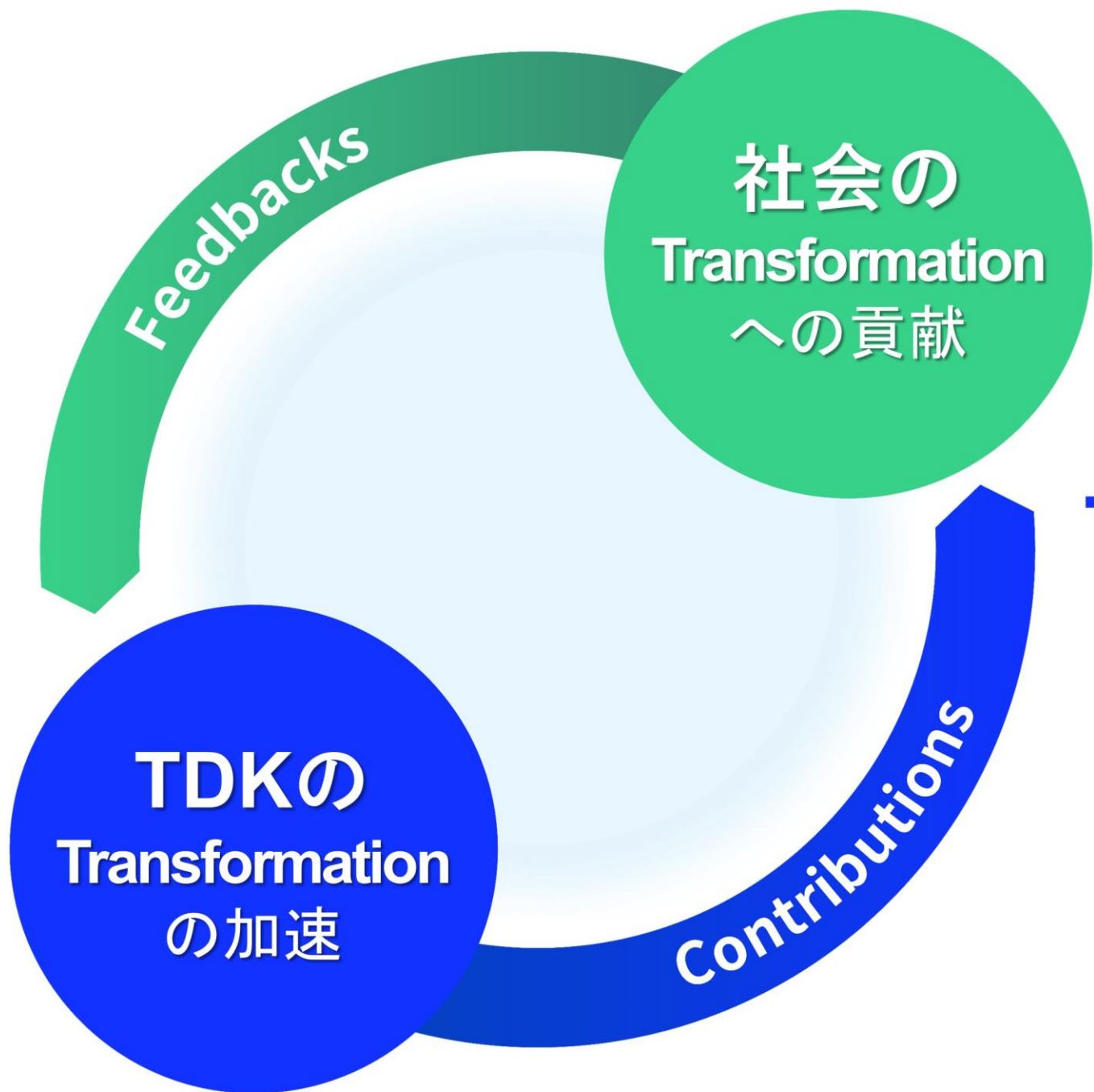
受動部品



センサ応用製品



エネルギー応用製品



長期ビジョン

TDK Transformation

Accelerating transformation
for a sustainable future

▶ TDKは、あらゆる場面やあらゆるものの中に存在し、イノベーションや進化を加速させています。

▶ TDK自身の変革のために、私たちは一人ひとり、日々成長し続けます。

In Everything, Better

▶ TDK独自のテクノロジーとベンチャースピリットを原動力に、「内側」からインパクトをもたらしています。

▶ より良い世界の実現のために、社会の変革に挑み続けます。

齋藤 昇 代表取締役 社長執行役員CEO

- 1966年 9月10日生
- 1989年 入社 電子材料営業事業部配属（本社）
- 1995年 TDK Electronics Europe 出向（ドイツ）
- 2003年 TDKハンガリー 出向（ハンガリー）
- 2004年 TDK Corporation of America 出向（米国）
- 2006年 TDK Electronics Europe 社長（ドイツ）
- 2011年 執行役員
- 2013年 電子部品営業グループ GM
- 2013年 常務執行役員
- 2015年 戦略本部長
- 2015年 取締役
- 2017年 センサシステムズBC CEO
- 2022年 代表取締役 社長執行役員CEO（現任）

TDKのココが好き!

“機能対等”の企業文化

言葉遣いは気を付けますが、役職に関係なく、言いたいことが言えるオープンなところ。加えて、多種多様な経営資源を全世界に幅広く展開しているところですね。



📍 出身は、三重県鳥羽市です

関西、中部圏の方々はよくご存じと思いますが、水族館と真珠が売りの海沿いの田舎です。



🖌️ 座右の銘「プレッシャーを楽しむ」

言うは易し、行うは難しですが...

😊 休日は落語鑑賞でリラックス

リラックスすると共に勉強にもなります。また、ゴルフも楽しんでいます。

🍴 好きな食べもの・飲みもの「何でも」

ですが、玉葱は苦手です。飲み物はコーヒー、ビール、ワイン、日本酒、芋焼酎、と何でもいけます。

💭 子どものころは、お笑い芸人になりたかった! ?

電車の運転手や野球選手も考えましたが、人を笑わせることが好きだったのでお笑い芸人まで考えたこともありました。





未財務資本説明会



メディア出演



フォーミュラE



CES

MY TRANSFORMATION by 齋藤昇

社内・社外のコミュニケーションを強化してきました。



新入社員歓迎会



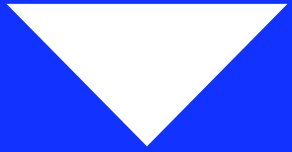
San Joseオフィスでの国際交流イベント



タウンホールミーティング



国際女性デーイベント



本日のアジェンダ

Agenda

1. “これまで”のTransformation
2. “これから”のTransformation

Appendix

▶▶▶ これまでの

Transformation

創業の精神

社是

社是
創造に
よつて
文化産業に
貢献する

社訓

夢 勇気 信頼

1935年、フェライトの工業化を目的に設立



東京工業大学※で発明された磁性材料フェライト



創業者の齋藤憲三



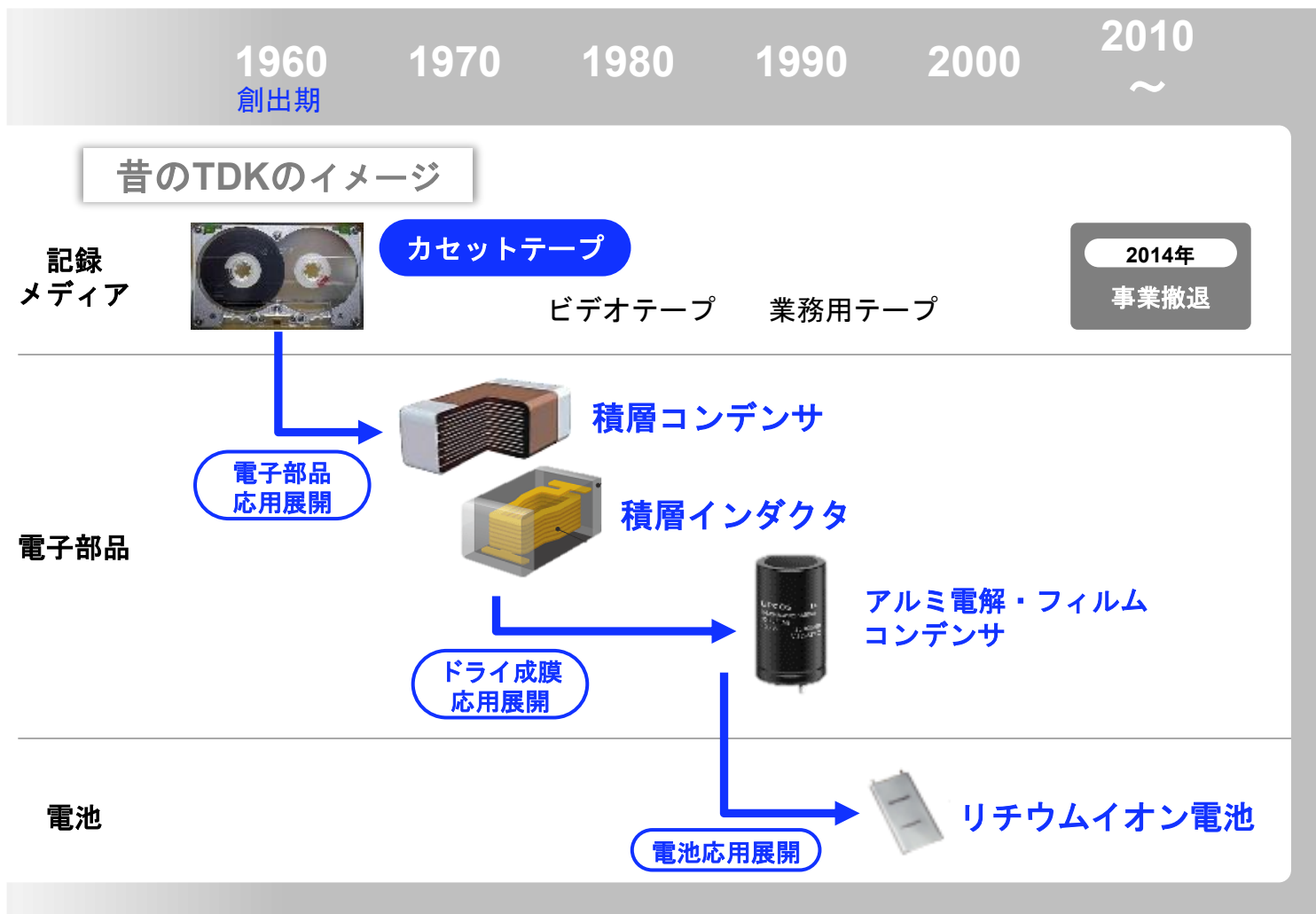
フェライト発明者の加藤与五郎博士（左）と武井武博士（右）

TDK Venture Spirit

東京工業大学※で発明された磁性材料フェライトの工業化を目的としたベンチャー企業として1935年に創業されて以来脈々と受け継がれた、新たな技術創出や新事業創造に果敢に挑戦するTDKの企業文化。

※現・東京科学大学

カセットテープのTDKから電子部品のTDKへ



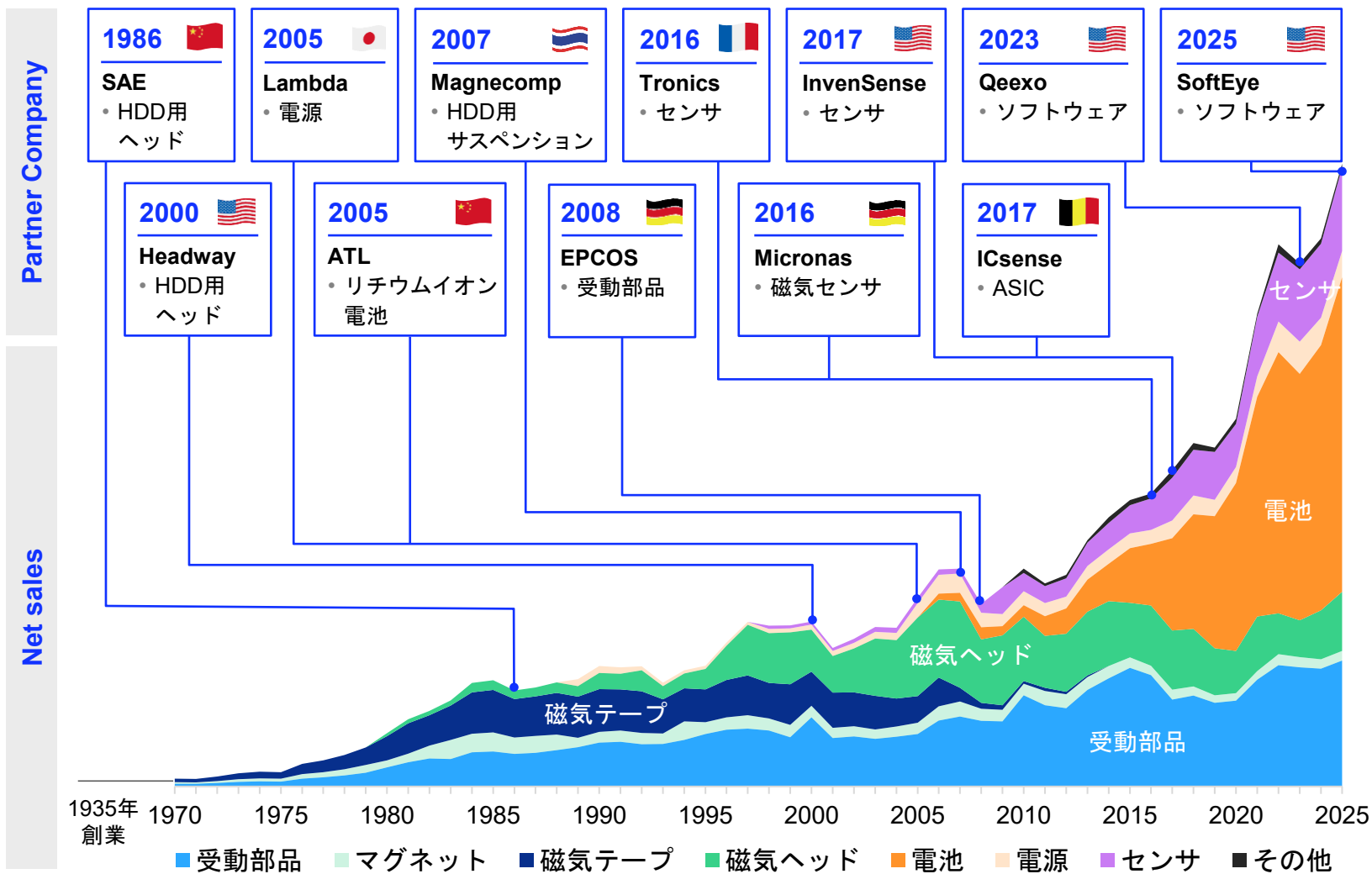
今は様々な市場に電子部品を供給する
グローバルメーカー

自動車市場
Automotive

ICT市場
ICT

産業機器・エネルギー
Industrial & Energy

多様性重視の企業文化

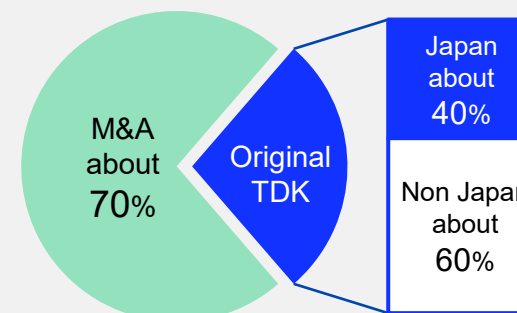


多様性の尊重 “TDK United”

「個人や個社の力を伸ばしながらお互いの理解を促し、チームワークで価値を創出する個性あふれる融合体」というTDKが目指す組織文化を示したもの。

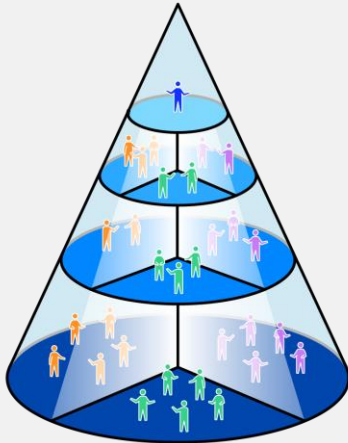


従業員構成 (10万人強)



融合を目指す「TDK United」の原動力

トップダウン型
リーダーシップ



部門

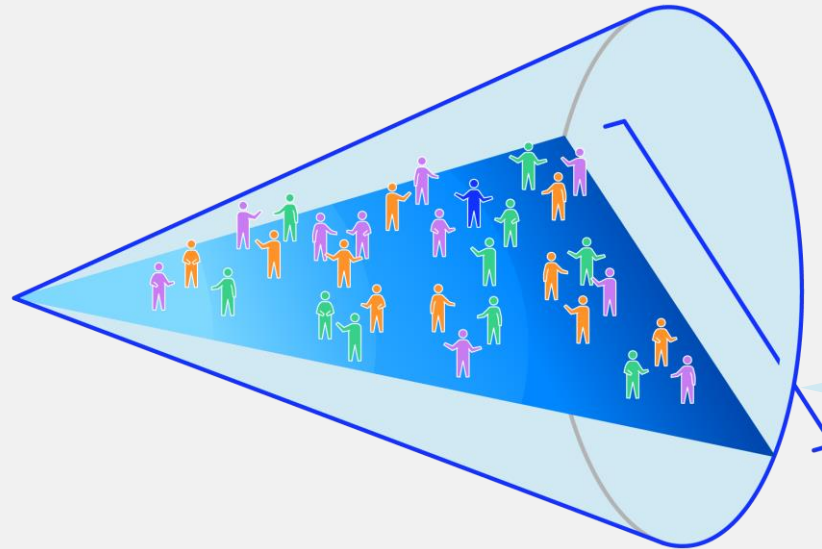


役割



独自の企業文化

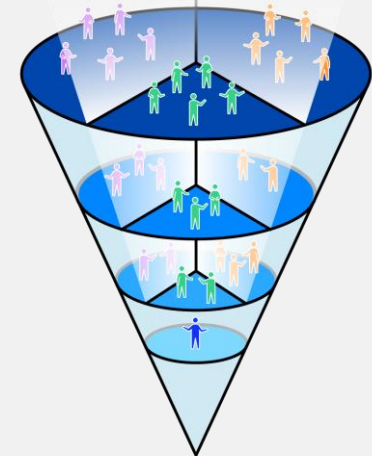
機能対等



部門を超えて
提案や意見交換
をする

役職に上下はあるが、役目すなわち機能に上下は無い。意見は平等に扱われる

サーバント
リーダーシップ



ガバナンス方針

権限委譲と透明性の確保 (Empowerment & Transparency)

企業価値向上に貢献する未財務資本

未来のフェライトツリー

New Business

独自の
企業文化

TDK
Venture Spirit

多様性の尊重
TDK United

機能対等



技術力

数字で見るTDK (2026年3月期)

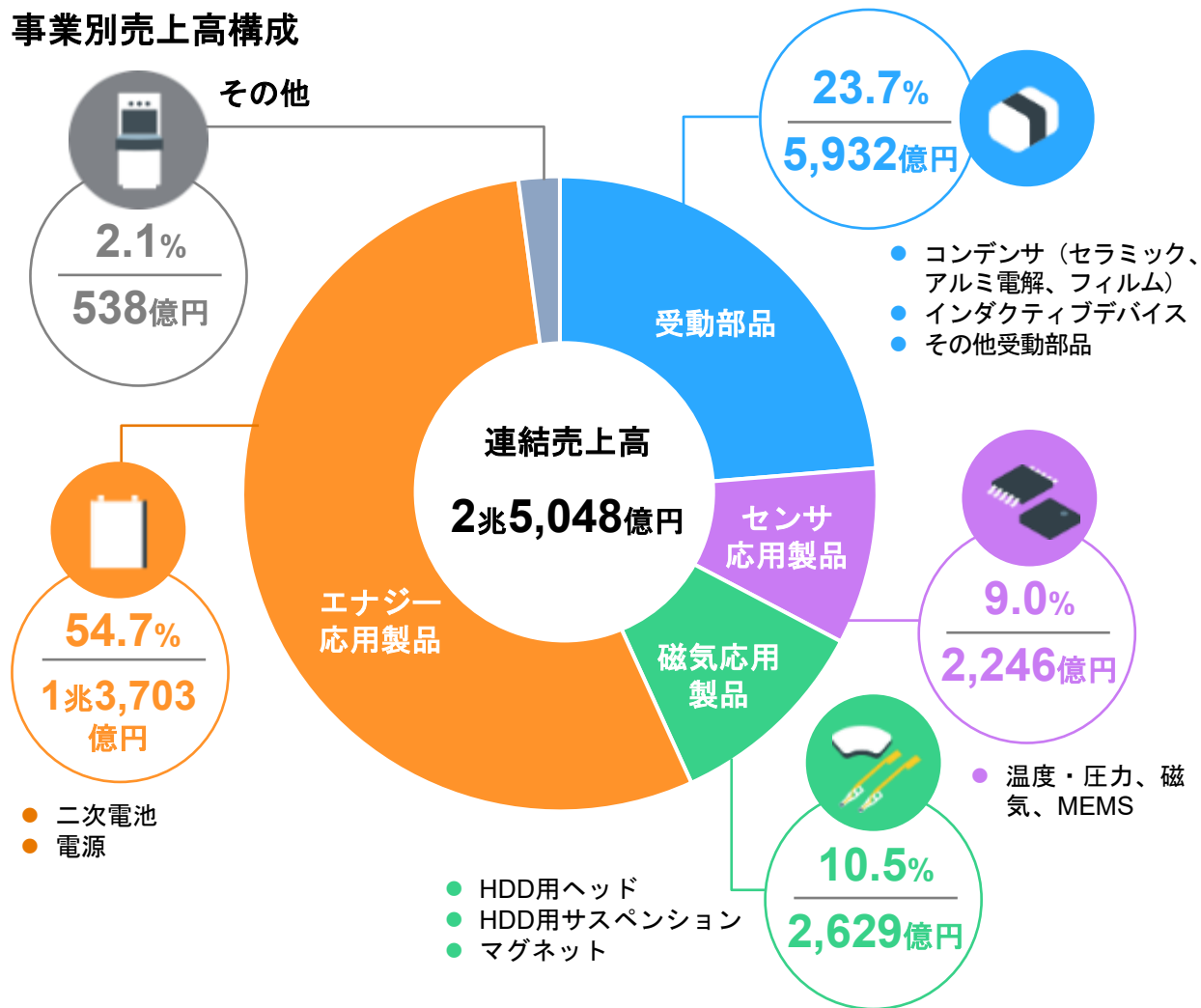
TDK at a glance



売上高	2兆5,048億円	従業員数	10万6,545人
営業利益	2,724億円	女性管理職比率*	23.0%
営業利益率	10.9%	売上高研究開発費率	11.6%
フリー・キャッシュ・フロー	1,299億円	株主資本比率	49.5%

※2025年3月末時点

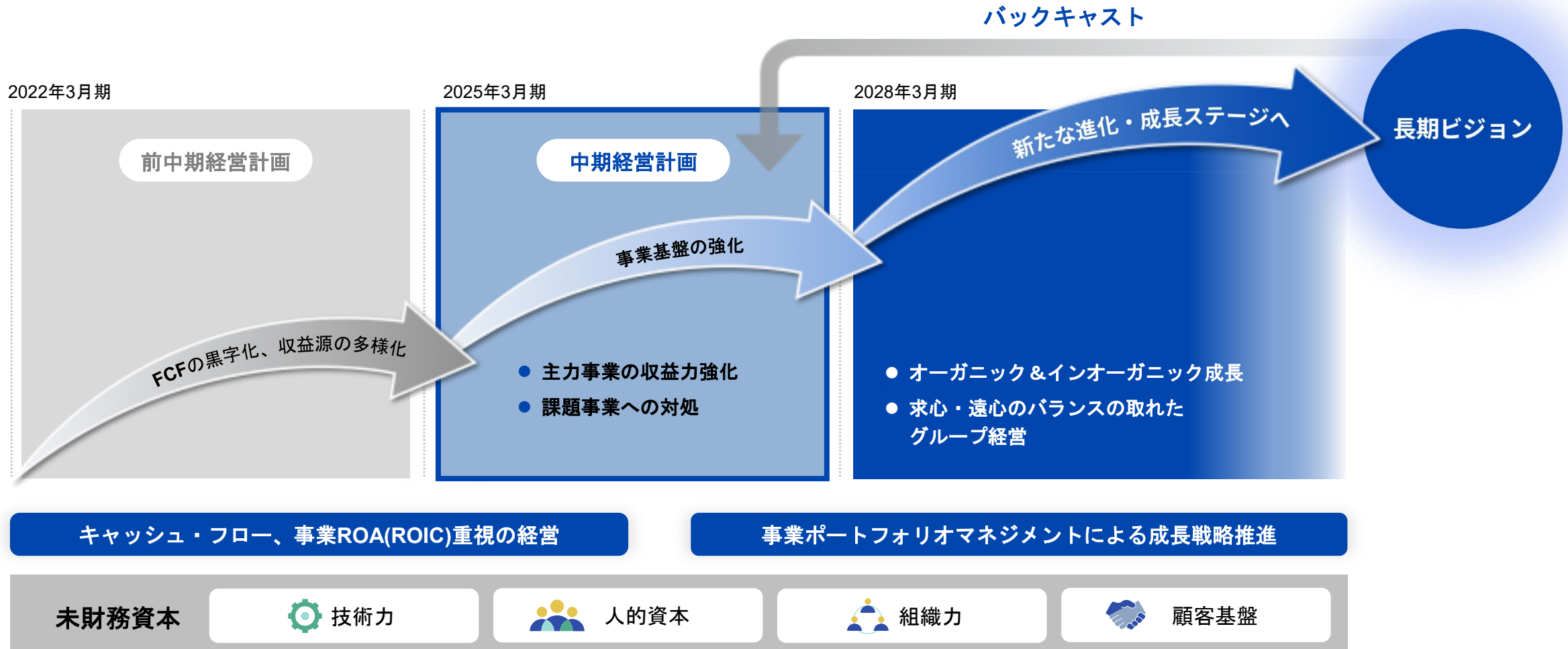
事業別売上高構成



これからからの ▶▶▶

Transformation

長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画



財務KPIの進捗

- ▶ 26年3月期は、期初目標値を達成。中計最終年度(27年3月期)の目標値に変更はなし
- ▶ 経営の目線は「中長期で目指す姿」へ



成長性	売上高 [億円] (年率換算成長率)	25,048	25,800	25,000 (約5%)	(約10%以上)
	効率性	ROE	9.8%	10.3%	10%以上
ROIC (事業ROA) (>WACC)		7.5% (>7.0%)	8.0% (>7.0%)	8%以上	12%以上
営業利益率		10.9%	11.4%	11%以上	15%以上
財務健全性	株主資本比率	49.5%	51%	50%水準	-
	D/Eレシオ	0.28倍	0.3倍	0.3~0.4倍	-

為替前提

151円/US\$

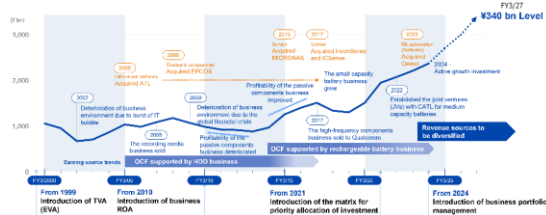
150円/US\$

135円/US\$

135円/US\$

中期経営計画のポイントの進捗

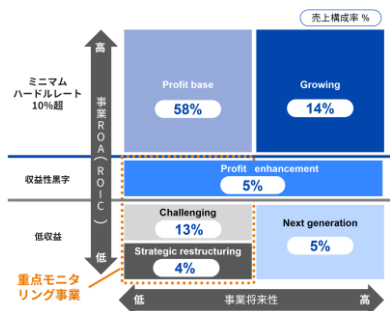
1 キャッシュ・フロー経営の強化



FCF重視経営の加速

- FY26/3通期のFCF実績
 期初700億円から
1,299億円へ拡大

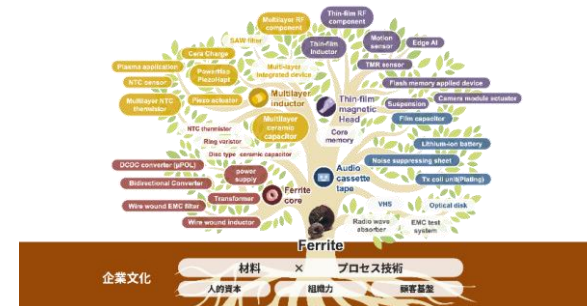
2 事業ポートフォリオマネジメントの強化 (ROIC経営の強化)



資本収益性改善へ向けて

- 詳細次ページ以降で説明

3 フェライトツリーの進化 (未財務資本の強化)



未財務資本強化に向けた継続的取り組み

人的資本の強化

- エンゲージメント向上に向けた活動の推進

技術力の強化

- アナログリザーバーAIチップ等技術開発の進展
- Porsche MotorSportと技術提携を締結
- SensEIのEdgeRXがAWSとの連携
- SoftEye社を買収し、ARP BDを設立

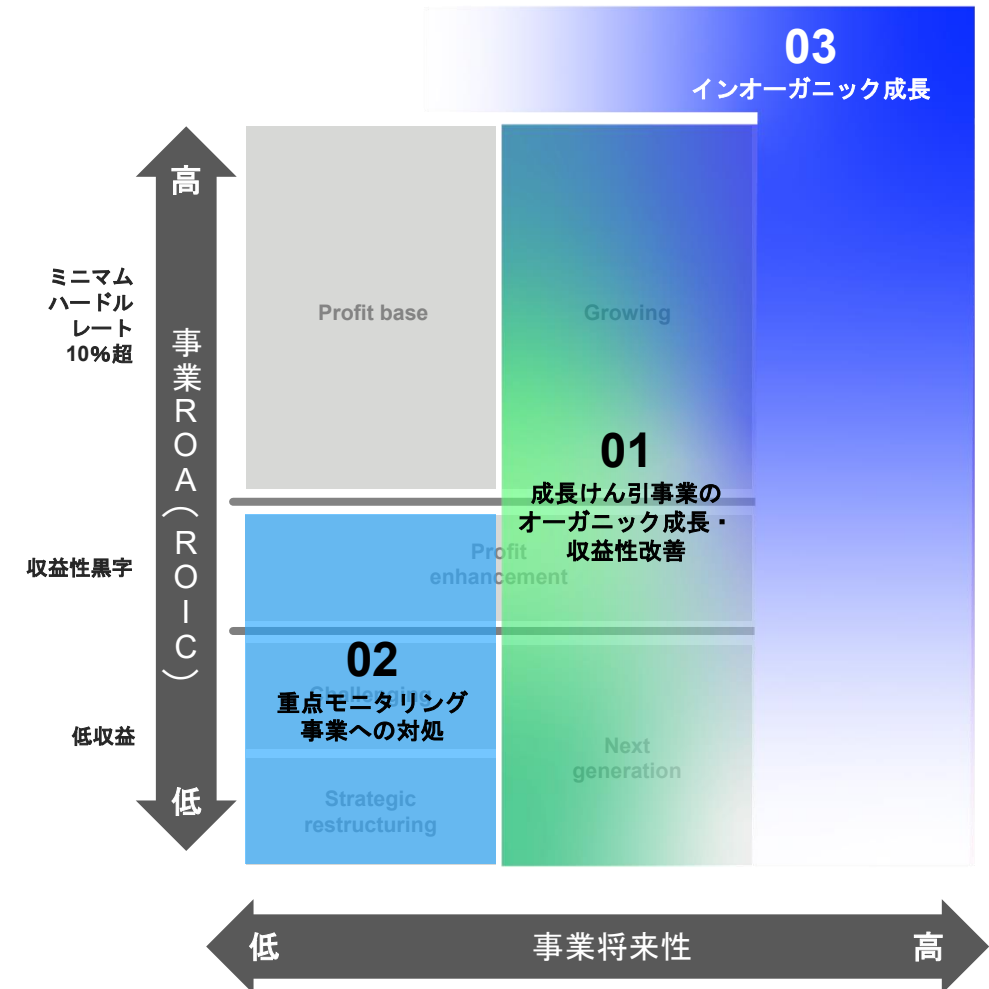
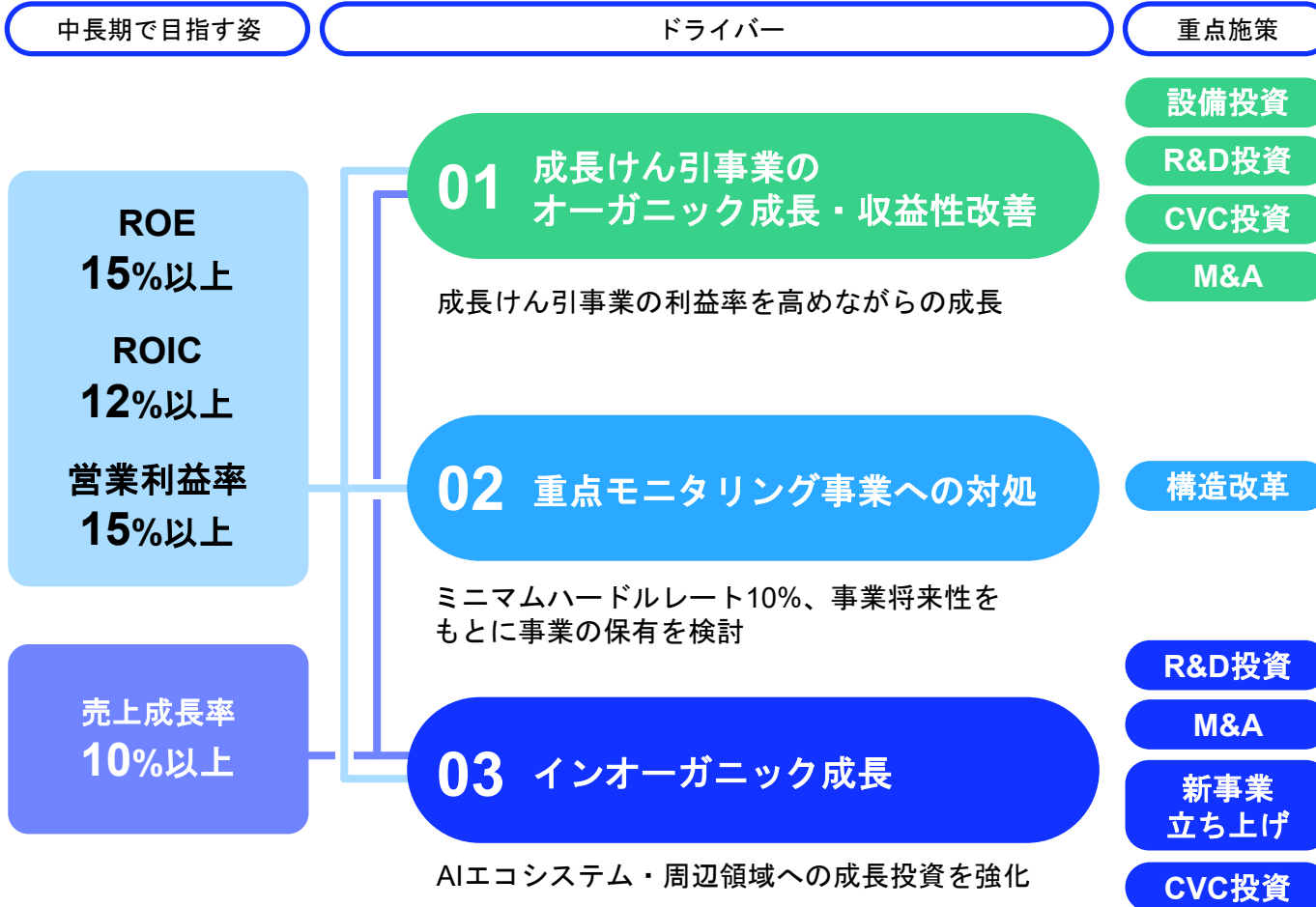
サステナビリティ活動やDXの取り組み強化

- FTSE 過去最高となるスコア 4.8 (5点満点) を獲得
- EcoVadis 初めて最高評価の「プラチナ」を獲得
- DX銘柄2026として初選定



中長期で目指す姿の実現に向けて

- ▶ オーガニック成長・インオーガニック成長の両輪により一層の事業ポートフォリオマネジメントを推進していきます



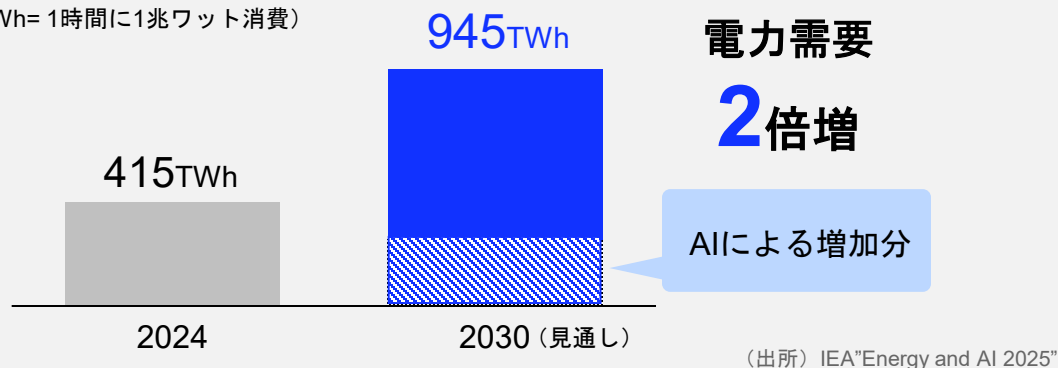
AIエコシステム全体に貢献し、成長を目指します



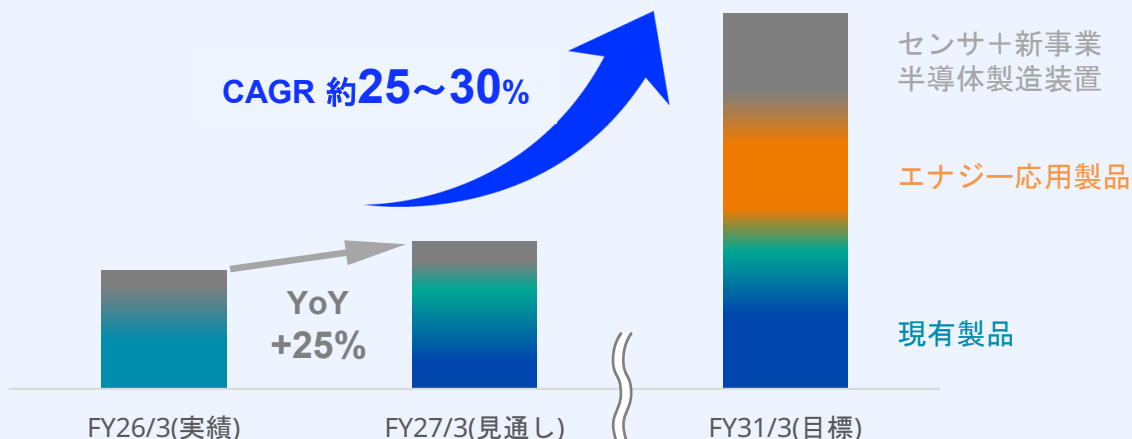
AIエコシステム全体に向けて売上を伸ばします

世界のデータセンター電力需要の見通し（AI需要の爆発的増加）

（TWh= 1時間に1兆ワット消費）



AIエコシステム向け製品の売上高（予想と目標）



製品群

主な進捗

受動部品

- アルミ電解コンデンサの能力拡大
- 薄膜・巻線インダクタの能力拡大
- 光トランシーバー用製品ラインアップの拡大

現有製品

ヘッドサスペンション

- サスペンションの継続的生産能力拡大
- HAMR量産化に向けた準備

中型二次電池

- AIデータセンター向け製品ラインアップの拡大

半導体製造装置

- ナノコンポジット材料業界初の量産化へ

センサ+新事業

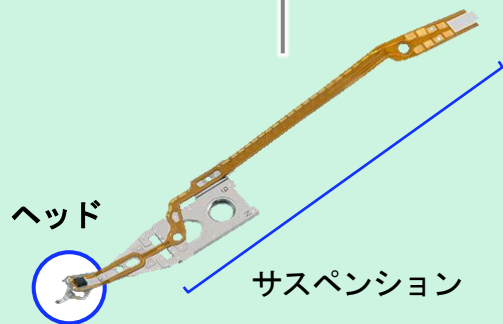
- EdgeRXプラットフォームとAWSサービスとの連携
- ARPBDを設立、販売シナジーの強化

TDKは、世界で唯一のHDD用磁気ヘッド専門メーカー

現有製品

HDD用磁気ヘッドとは

HDD (ハードディスクドライブ)



HDD用磁気ヘッドの技術力

HDD用磁気ヘッドはディスクの高速回転の風圧で浮上する

磁気ヘッドの
浮上量

1.25mm

約10nm


ヘッド

磁気ディスク

ジェット旅客機に例えると

70.66m

約0.56mm

10ナノメートル (nm) = ジェット旅客機に対する蟻より小さい!  約2~10mm

磁気ヘッド製造で培った、TDKの主なコア技術

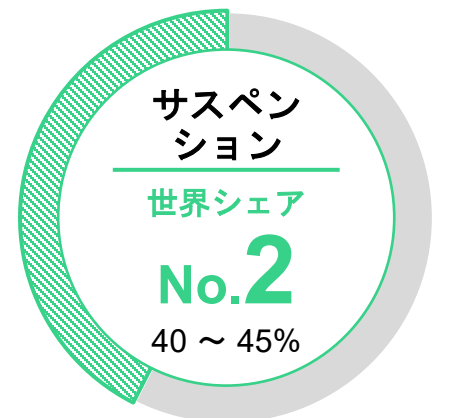
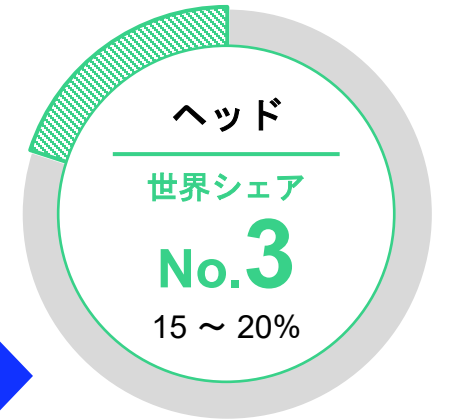


スピントロニクス技術



薄膜技術

推定市場シェア



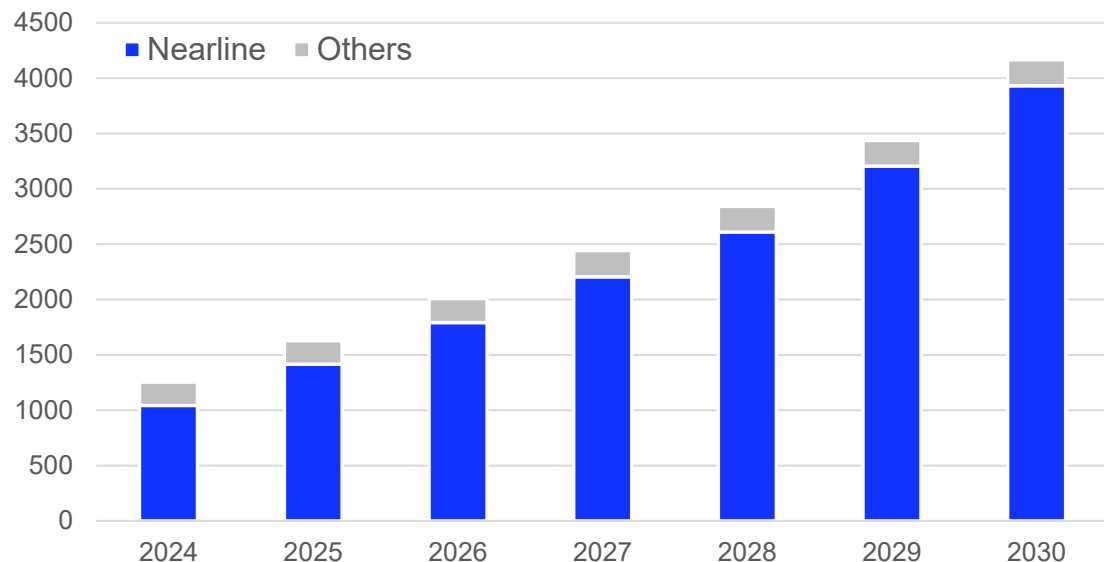
HDD市場向け製品について

現有製品

- ▶ 大容量ストレージ需要の継続的拡大で、ニアラインHDD需要は今後も増加
- ▶ MAMR、HAMR、Tri-SA等の新世代技術の継続的投入で付加価値を向上させ、高収益事業へ

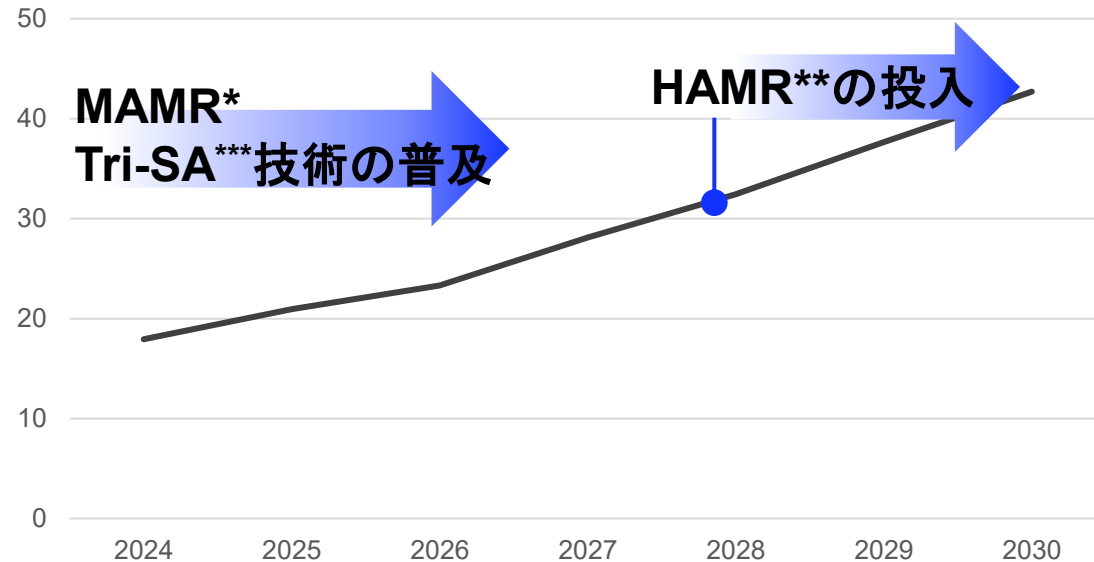
HDD出荷容量予測

unit:Exabyte



ニアラインHDD 1台あたりCapacity 予測

unit:TB



Source: TrendFocus, HDD Information Service, CQ4'25 Update and Long-Term Forecast, February 2026

重点施策

- HAMR量産化の為研究開発及び設備投資の継続
- Tri-SA能力の継続的拡大

* MAMR: Microwave-Assisted Magnetic Recording

**HAMR: Heat-Assisted Magnetic Recording

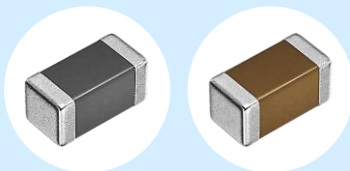
***Tri-SA: Tri-Stage Actuator Suspension

自動車市場で活躍するTDKの受動部品

現有製品

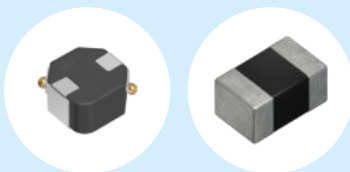
主な自動車向け受動部品

積層セラミックコンデンサ (MLCC)



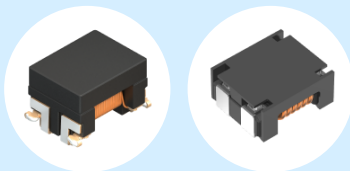
電気を蓄え
ノイズを消し、
ECUを守る。

インダクタ (コイル)



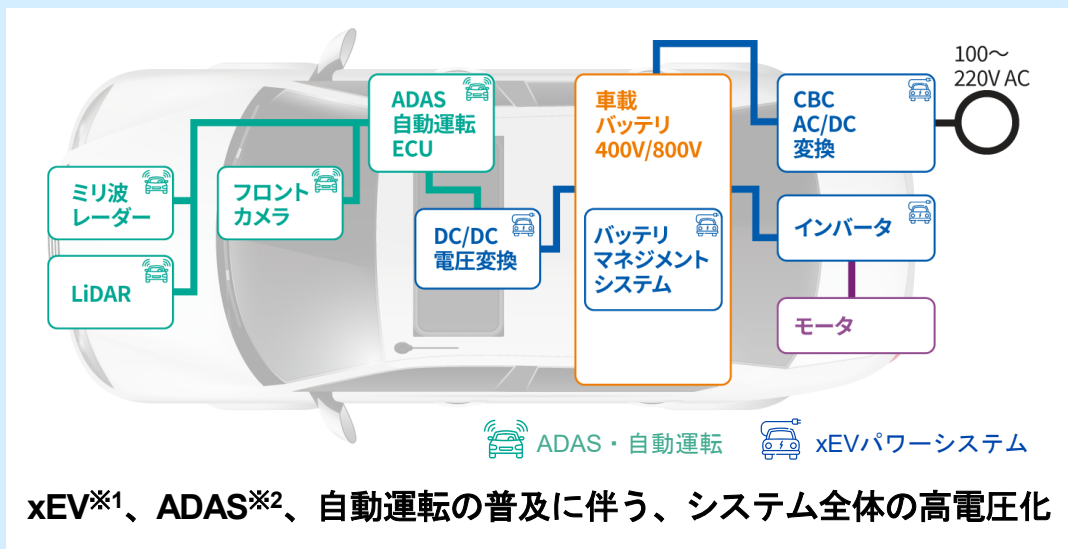
電流を整えて、
電源を安定
させる。

EMCフィルタ (コモンモードフィルタ)



ノイズを除去し、
誤作動を防ぐ

自動車の電装化、多機能化が加速



「小型・高耐圧・高信頼性」のTDKの受動部品を幅広く展開

製品1台当たり
に搭載される
MLCCの数は
増加傾向

スマートフォン

約800
~1,200個

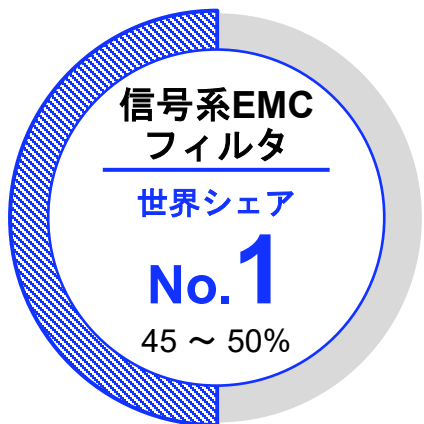
電気自動車 (HEV/PHEV/BEV)

約10,000個

ガソリン車
約5,000個

(TDK試算)

推定市場シェア

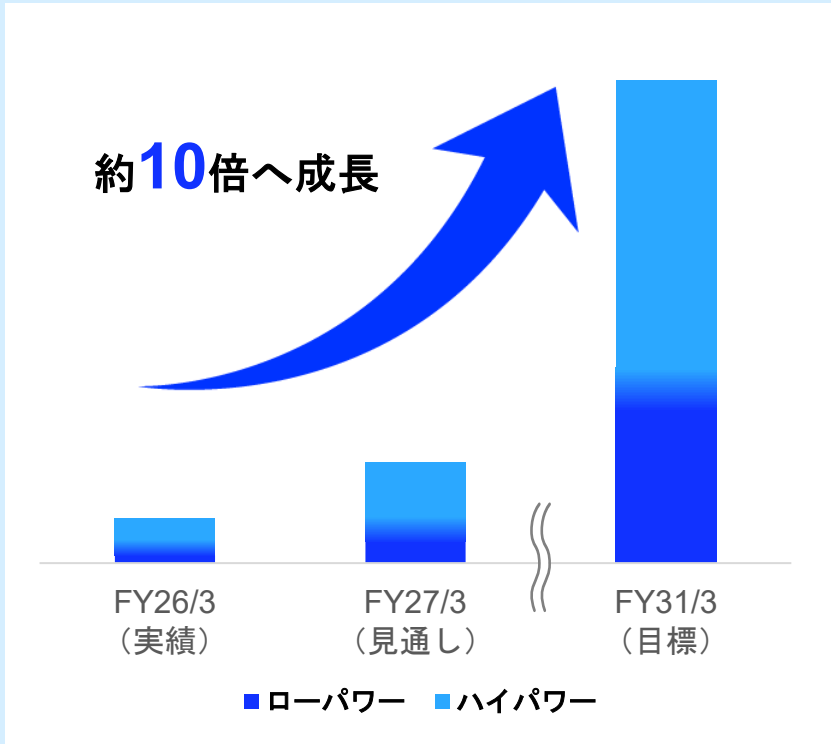


AIデータセンター関連向け受動部品の売上高を約10倍に

現有製品

AIデータセンター 関連 アプリケーション	<p>⚡ 高電圧対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 送配電網 UPS (無停電電源装置) PSU (電源ユニット) 	<p>⚡ 低電圧対応</p> <ul style="list-style-type: none"> アクセラレータ GPUパッケージ
	<p>高容量</p> <ul style="list-style-type: none"> MLCC アルミ電解 フィルム 	<p>高容量</p> <ul style="list-style-type: none"> MLCC
コンデンサ		
インダクティブ デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 巻線インダクタ フェライトコア トランス 	<p>大電流</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻線インダクタ 薄膜インダクタ
	<p>高需要</p> <p>自動車向け 高電圧対応の受動部品</p>	<p>重点強化</p> <ul style="list-style-type: none"> JV設立で材料開発を加速 新給電方式など研究開発

AIデータセンター関連向け受動部品の売上高 (予想と目標)



内側からインターフェースの進化を支えるTDK

センサ+新事業

見るための要素

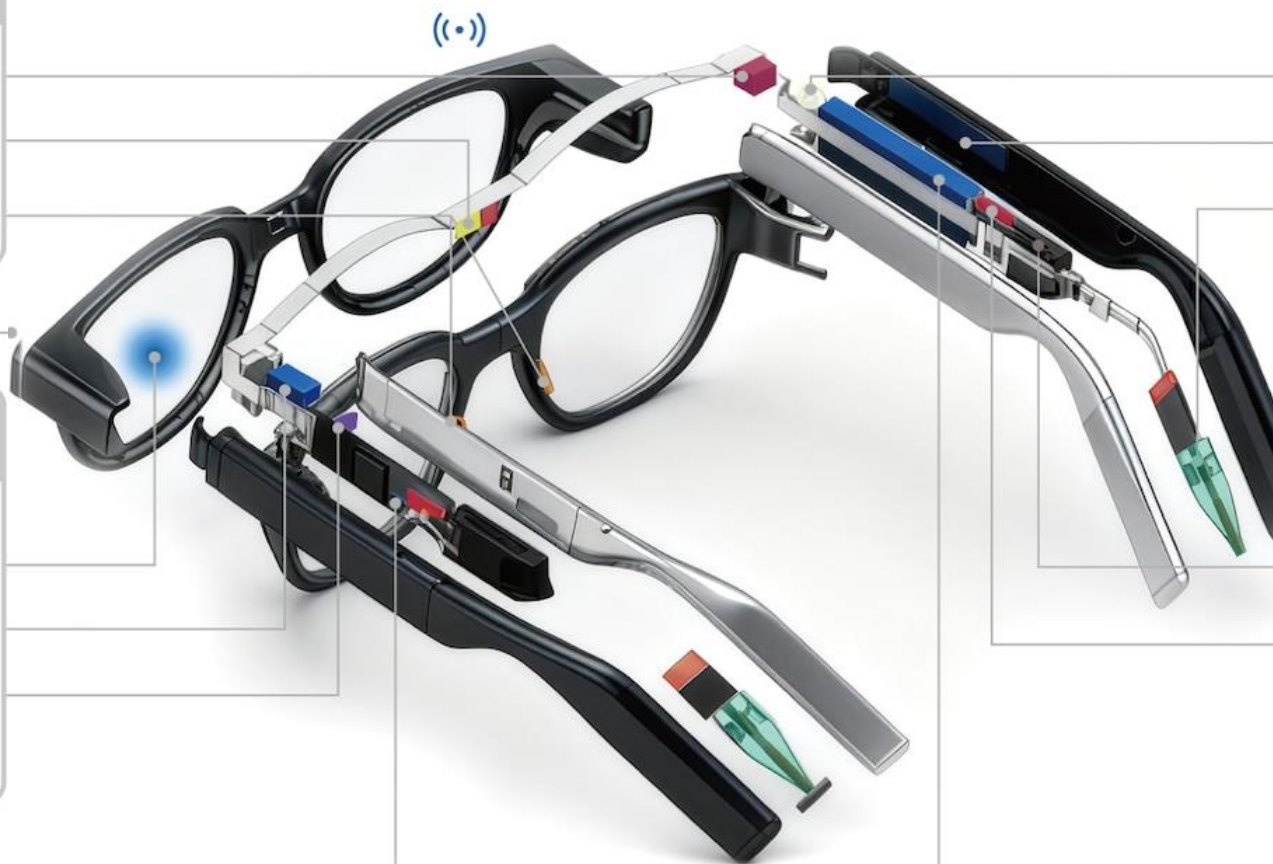
- 周囲の状況を読み取るセンサ
- AIチップ (AIの学習や判断を行う部品)
- 視線を読み取るカメラ

表示するための要素

- TDK メタオプティクス (光を制御する超薄型光学技術)
- TDK フルカラーレーザーモジュール (網膜に直接レーザーを投影して映像を映し出す)
- TDK MEMS ミラー (レーザーで映像を描くARの技術)

TDKのIMU (慣性計測ユニット)

TDKの透明なアンテナ



触覚のための要素

- TDK ソリッドステートボタン (触るだけで反応するボタン)
- TDK ハプティックタッチパッド (なぞる・触る操作)
- TDK ピエゾハプティック (触覚を生み出す技術)

音に関する要素

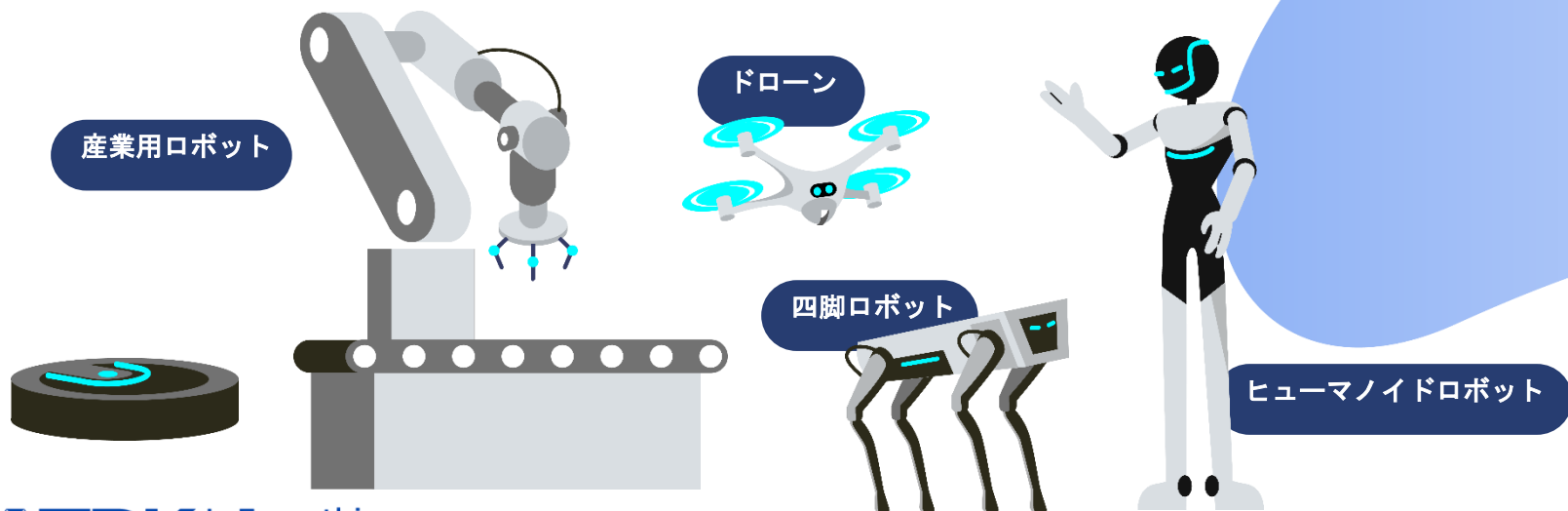
- スピーカー
- TDKのマイク

TDKのバッテリー

低消費電力で高度なアイトラッキング (視線追跡)

フィジカルAI、ヒューマノイドロボットへの貢献

- ▶ フィジカルAIでは、角度、電流、モーション、音声、温度等様々なセンサやバッテリー需要の増加が期待される
- ▶ TDKは、高精度・高信頼性製品でビジネスの拡大を目指す



スピントロニクス：通信・電力問題を解決する次世代技術

光検知原理

超高速・大容量・低遅延の光信号



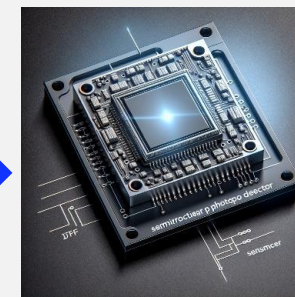
光配線

フォトディテクタ

光信号を
電気信号に変換する
光検知センサ

電気信号

データ処理 (e.g., 生成AIチップ)



AIサーバの超高速通信には、AIチップ等の周辺にCPO（光電融合）による超小型の通信モジュールが必要

TDK独自のスピントロニクス

応答速度 • **20ピコ秒**の超高速応答 (1ピコ秒=1兆分の1秒)

サイズ • 超小型。半導体フォトディテクタの**1000分の1**

生産性 • 希少材料を使った半導体が不要
• 基板材料の自由度が高い

想定用途

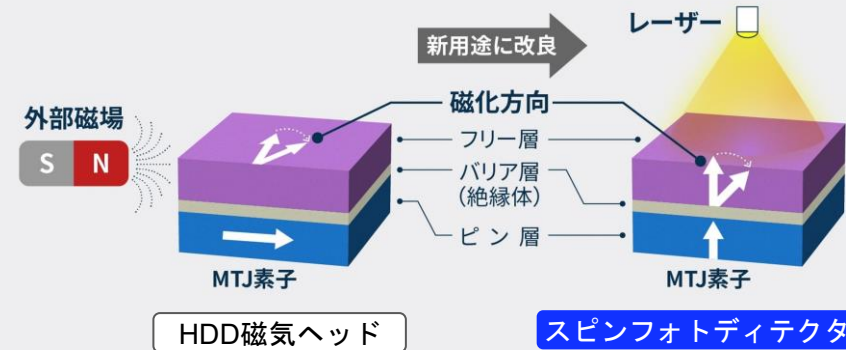


AIデータセンター



スマートグラス

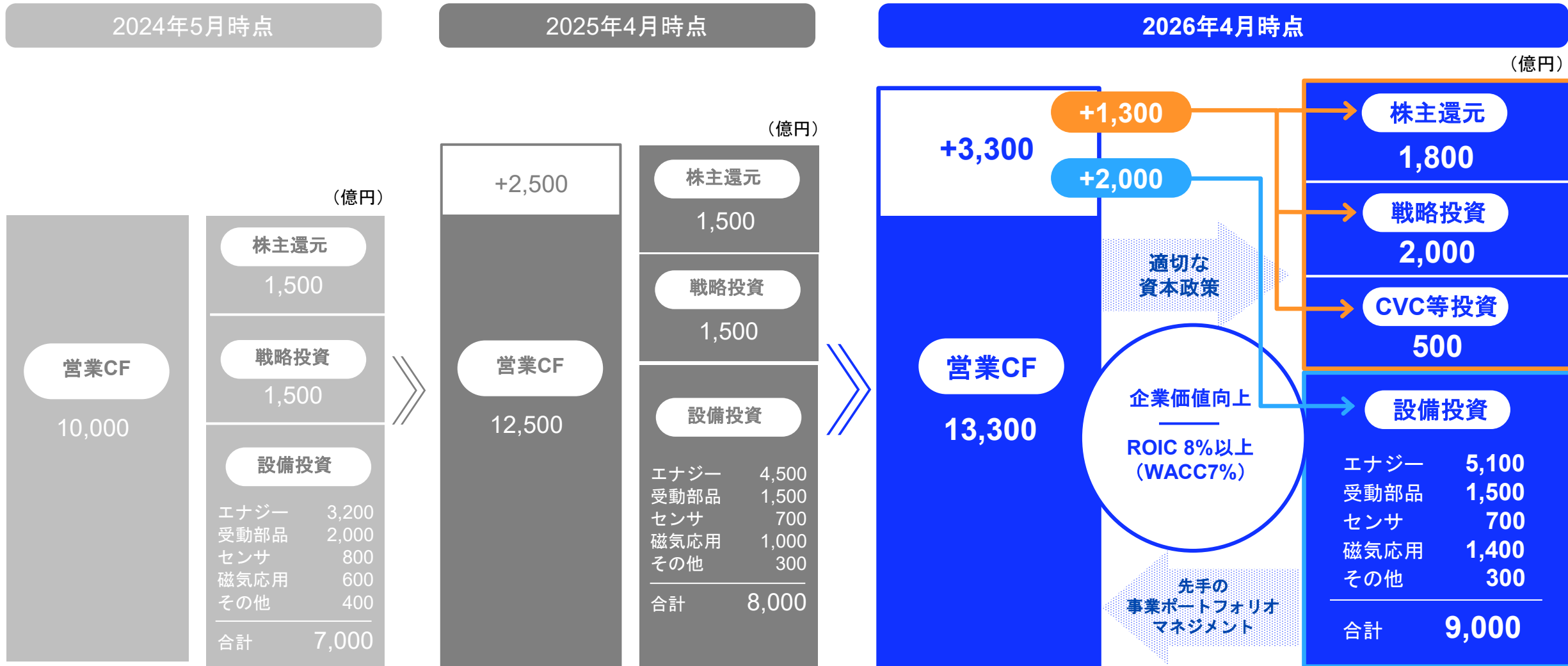
スピントロニクスの構造



磁気ヘッドのスピントロニクス技術がベース

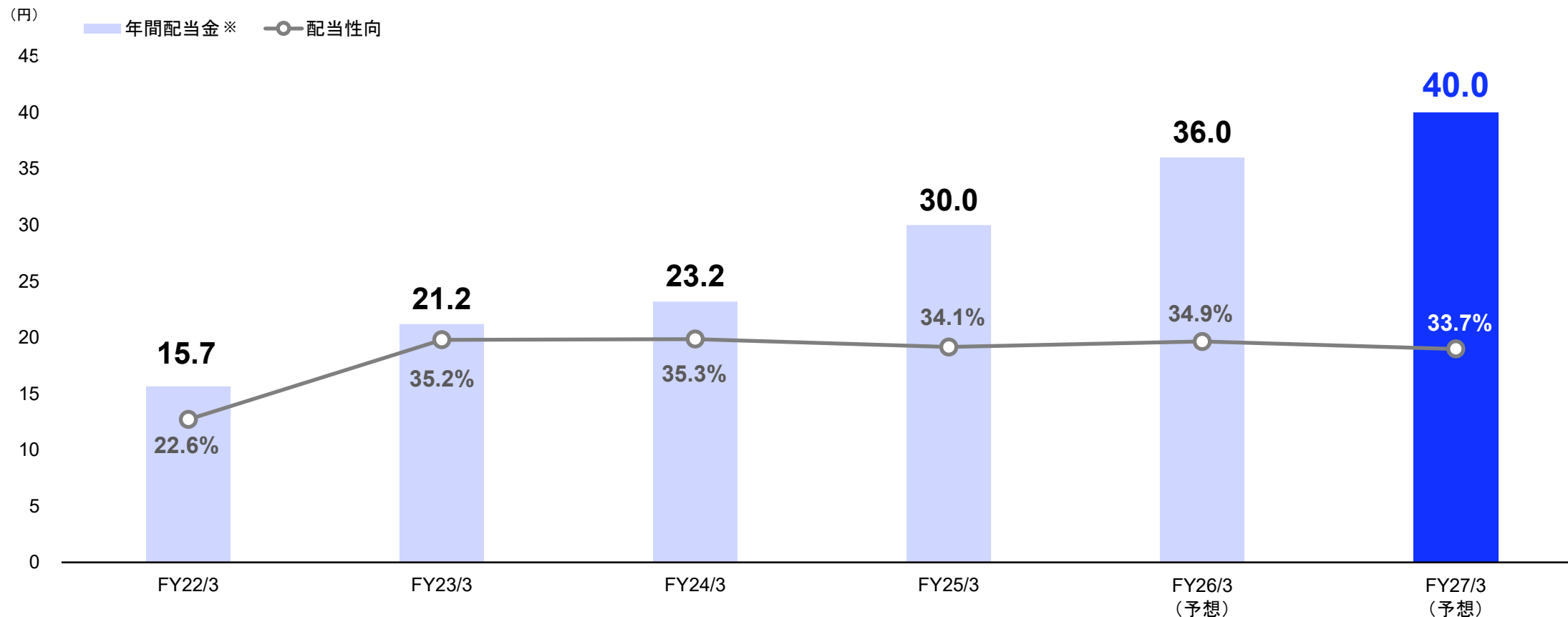
キャピタル・アロケーション方針の見直し (FY25/3~FY27/3累計)

▶ 当初計画から上振れを見込む営業CFを設備投資に配分。市場環境を踏まえて、戦略投資と株主還元にも配分



2027年3月期 年間配当金見通し

- ▶ 2026年3月期の年間配当金は、期初計画よりも上方修正し増額
- ▶ 2027年3月期は、40円/株を計画



※ 2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行った金額

株主・投資家向けイベントのお知らせ

株主様向け「TDKテクノロジー・トーク」

開催日 2026年6月19日（金） 株主総会終了後に開催

概要 最新テーマを技術者がご紹介！

- ▶ ライフスタイルを変える「スマートグラス」の可能性
- ▶ 機械の予知保全を実現する「エッジAIソリューション」

前回（2025年）の様子



後日、アーカイブ動画掲載予定

https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/general/index.html

TDK Investor Day : 未財務資本説明会

開催日 2026年9月1日（火）

概要 TDKの未財務資本「**人的資本**」と、「**ソフトウェア技術**」についてご紹介

前回（2025年）の様子

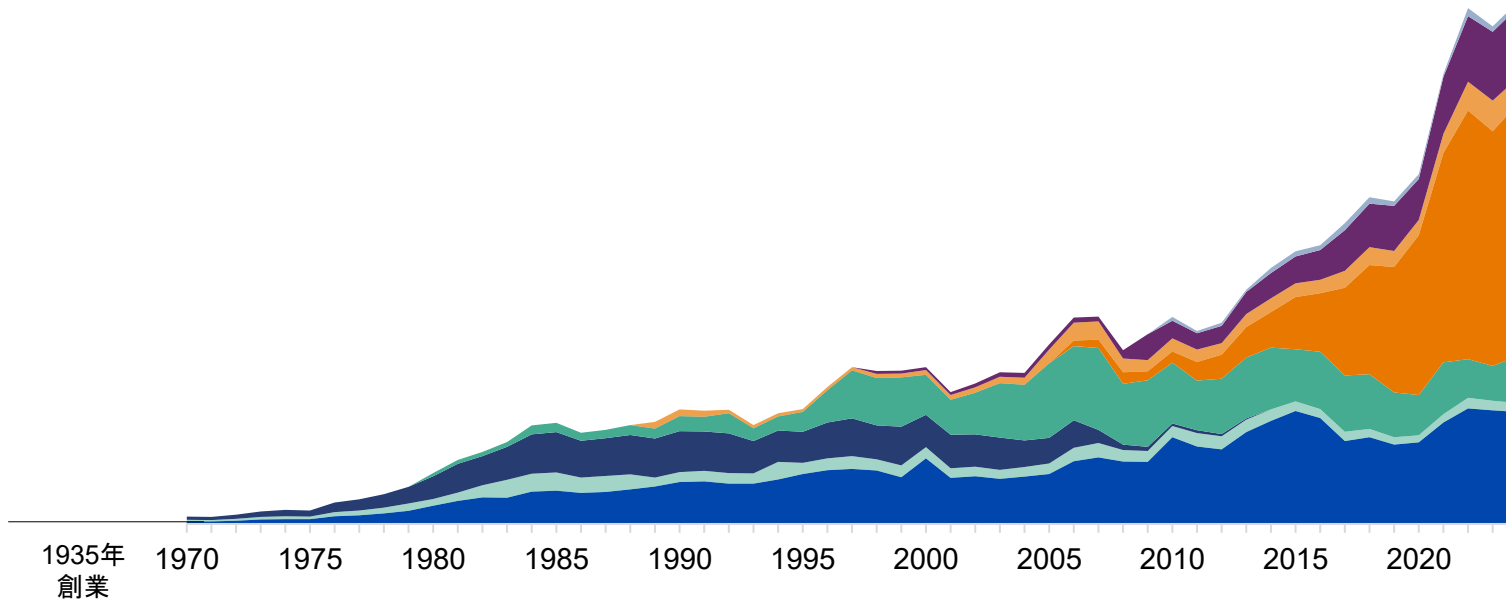


後日、アーカイブ動画掲載予定

https://www.tdk.com/ja/ir/ir_events/strategy/index.html

おわりに

In Everything, Better



長期ビジョン

TDK Transformation

Accelerating transformation
for a sustainable future



Appendix

会社概要

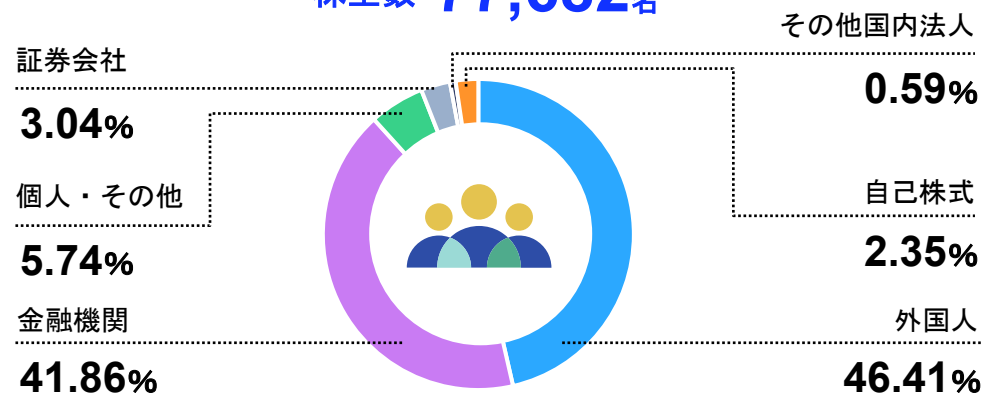
(2026年3月期)

商号	TDK株式会社・英文商号TDK Corporation
登記上の会社名	TDK株式会社
本社	〒103-6128 東京都中央区日本橋二丁目5番1号
設立	1935年12月7日
発行可能株式総数	7,200,000,000株
発行済株式の総数	1,943,859,885株
株主数	77,682名
資本金	32,641,976,312円
上場証券取引所	東京証券取引所
連結売上高	2兆5,048億円

親会社の所有者に帰属する当期利益	1,957億円
従業員数	106,545人
会社格付	A3（ムーディーズ）、A-（スタンダード&プアーズ）、AA-（格付投資情報センターR&I）
短期社債格付	A-2（スタンダード&プアーズ）、a-1+（格付投資情報センター）
グローバルネットワーク	30以上の国や地域に250以上の工場、研究開発拠点、および営業拠点
主なビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・受動部品 ・センサ応用製品 ・磁気応用製品 ・エネルギー応用製品 ・その他

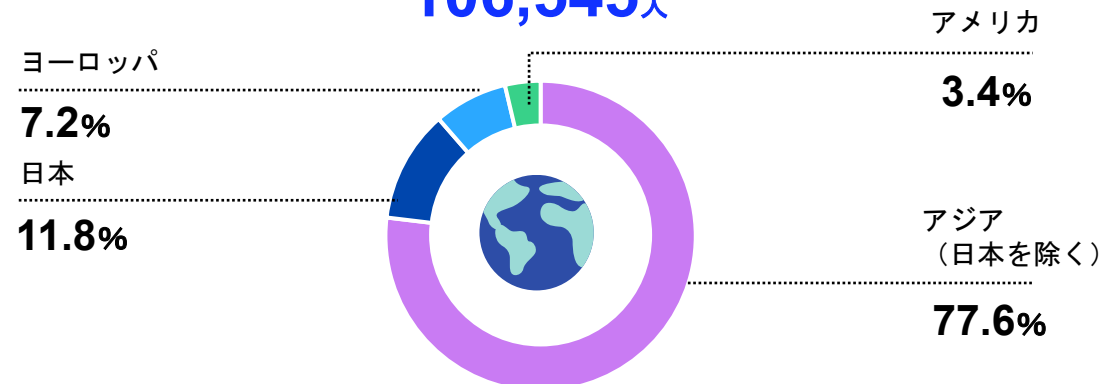
株式分布状況

株主数 **77,682名**



地域別従業員数


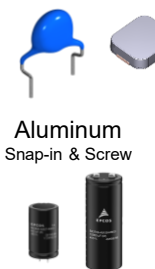

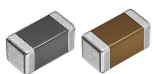





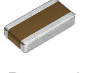
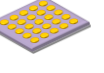
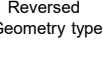





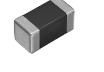
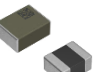
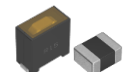
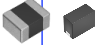
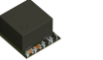



従業員数 **106,545人**



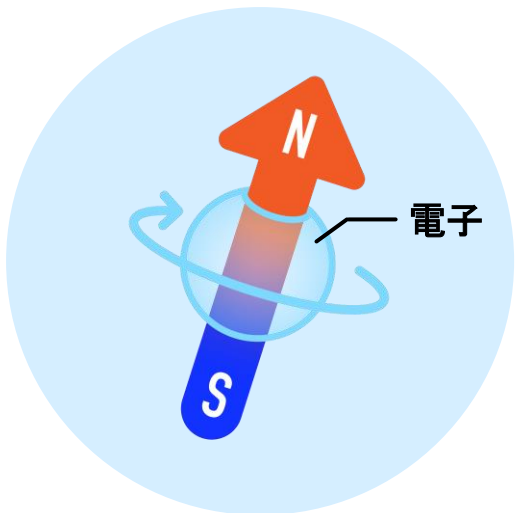
現在の事業 (2026年3月期)

	受動部品	センサ応用製品	磁気応用製品	エネルギー応用製品																																																																																																																
売上高 営業利益率 事業ROA(ROIC) 推移と目標	<p>■ 売上高(億円) ● 営業利益率(%) ● 事業ROA(ROIC)(%)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高(億円)</th><th>営業利益率(%)</th><th>事業ROA(ROIC)(%)</th></tr> <tr><td>2022/3</td><td>5,078</td><td>16.4</td><td>15.1</td></tr> <tr><td>2023/3</td><td>5,788</td><td>17.0</td><td>16.3</td></tr> <tr><td>2024/3</td><td>5,656</td><td>9.5</td><td>7.7</td></tr> <tr><td>2025/3</td><td>5,596</td><td>6.1</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>2026/3</td><td>5,932</td><td>7.1</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>2027/3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)	2022/3	5,078	16.4	15.1	2023/3	5,788	17.0	16.3	2024/3	5,656	9.5	7.7	2025/3	5,596	6.1	3.3	2026/3	5,932	7.1	4.8	2027/3				<p>■ 売上高(億円) ● 営業利益率(%) ● 事業ROA(ROIC)(%)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高(億円)</th><th>営業利益率(%)</th><th>事業ROA(ROIC)(%)</th></tr> <tr><td>2022/3</td><td>1,308</td><td>-0.2</td><td>-1.2</td></tr> <tr><td>2023/3</td><td>1,695</td><td>6.3</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>2024/3</td><td>1,805</td><td>3.3</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>2025/3</td><td>1,895</td><td>2.6</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>2026/3</td><td>2,246</td><td>9.2</td><td>4.7</td></tr> <tr><td>2027/3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)	2022/3	1,308	-0.2	-1.2	2023/3	1,695	6.3	3.5	2024/3	1,805	3.3	1.2	2025/3	1,895	2.6	0.2	2026/3	2,246	9.2	4.7	2027/3				<p>■ 売上高(億円) ● 営業利益率(%) ● 事業ROA(ROIC)(%)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高(億円)</th><th>営業利益率(%)</th><th>事業ROA(ROIC)(%)</th></tr> <tr><td>2022/3</td><td>2,484</td><td>3.3</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>2023/3</td><td>2,006</td><td>-22.0</td><td>-28.1</td></tr> <tr><td>2024/3</td><td>1,842</td><td>-12.2</td><td>-19.3</td></tr> <tr><td>2025/3</td><td>2,236</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr><td>2026/3</td><td>2,629</td><td>10.3</td><td>8.4</td></tr> <tr><td>2027/3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)	2022/3	2,484	3.3	1.8	2023/3	2,006	-22.0	-28.1	2024/3	1,842	-12.2	-19.3	2025/3	2,236	1.5	1.0	2026/3	2,629	10.3	8.4	2027/3				<p>■ 売上高(億円) ● 営業利益率(%) ● 事業ROA(ROIC)(%)</p> <table border="1"> <tr><th>期</th><th>売上高(億円)</th><th>営業利益率(%)</th><th>事業ROA(ROIC)(%)</th></tr> <tr><td>2022/3</td><td>9,653</td><td>15.1</td><td>12.8</td></tr> <tr><td>2023/3</td><td>11,734</td><td>15.6</td><td>12.6</td></tr> <tr><td>2024/3</td><td>11,217</td><td>21.5</td><td>17.4</td></tr> <tr><td>2025/3</td><td>11,765</td><td>19.9</td><td>27.3</td></tr> <tr><td>2026/3</td><td>13,703</td><td>25.7</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>2027/3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)	2022/3	9,653	15.1	12.8	2023/3	11,734	15.6	12.6	2024/3	11,217	21.5	17.4	2025/3	11,765	19.9	27.3	2026/3	13,703	25.7	18.0	2027/3			
期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)																																																																																																																	
2022/3	5,078	16.4	15.1																																																																																																																	
2023/3	5,788	17.0	16.3																																																																																																																	
2024/3	5,656	9.5	7.7																																																																																																																	
2025/3	5,596	6.1	3.3																																																																																																																	
2026/3	5,932	7.1	4.8																																																																																																																	
2027/3																																																																																																																				
期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)																																																																																																																	
2022/3	1,308	-0.2	-1.2																																																																																																																	
2023/3	1,695	6.3	3.5																																																																																																																	
2024/3	1,805	3.3	1.2																																																																																																																	
2025/3	1,895	2.6	0.2																																																																																																																	
2026/3	2,246	9.2	4.7																																																																																																																	
2027/3																																																																																																																				
期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)																																																																																																																	
2022/3	2,484	3.3	1.8																																																																																																																	
2023/3	2,006	-22.0	-28.1																																																																																																																	
2024/3	1,842	-12.2	-19.3																																																																																																																	
2025/3	2,236	1.5	1.0																																																																																																																	
2026/3	2,629	10.3	8.4																																																																																																																	
2027/3																																																																																																																				
期	売上高(億円)	営業利益率(%)	事業ROA(ROIC)(%)																																																																																																																	
2022/3	9,653	15.1	12.8																																																																																																																	
2023/3	11,734	15.6	12.6																																																																																																																	
2024/3	11,217	21.5	17.4																																																																																																																	
2025/3	11,765	19.9	27.3																																																																																																																	
2026/3	13,703	25.7	18.0																																																																																																																	
2027/3																																																																																																																				
重点製品と 推定市場シェア	<table border="1"> <tr><td>車載用セラミックコンデンサ</td><td>35-40%</td><td>Share No.2</td></tr> <tr><td>フィルムコンデンサ</td><td>15-20%</td><td>Share No.2</td></tr> <tr><td>信号系EMCフィルタ</td><td>45-50%</td><td>Share No.1</td></tr> <tr><td>バリスタ</td><td>55-60%</td><td>Share No.1</td></tr> <tr><td>PTCサーミスタ</td><td>50-55%</td><td>Share No.1</td></tr> </table>	車載用セラミックコンデンサ	35-40%	Share No.2	フィルムコンデンサ	15-20%	Share No.2	信号系EMCフィルタ	45-50%	Share No.1	バリスタ	55-60%	Share No.1	PTCサーミスタ	50-55%	Share No.1	<table border="1"> <tr><td>温度センサ</td><td>35-40%</td><td>Share No.1</td></tr> <tr><td>磁気センサ</td><td>20-25%</td><td>Share No.3</td></tr> <tr><td>MEMSモーションセンサ</td><td>15-20%</td><td>Share No.3</td></tr> </table>	温度センサ	35-40%	Share No.1	磁気センサ	20-25%	Share No.3	MEMSモーションセンサ	15-20%	Share No.3	<table border="1"> <tr><td>HDDヘッド</td><td>15-20%</td><td>Share No.3</td></tr> <tr><td>HDD用サスペンション</td><td>40-45%</td><td>Share No.2</td></tr> </table>	HDDヘッド	15-20%	Share No.3	HDD用サスペンション	40-45%	Share No.2	<table border="1"> <tr><td>小型二次電池</td><td>50-60%</td><td>Share No.1</td></tr> <tr><td>産業機器向け電源</td><td>10-15%</td><td>Share No.1</td></tr> </table>	小型二次電池	50-60%	Share No.1	産業機器向け電源	10-15%	Share No.1																																																																												
車載用セラミックコンデンサ	35-40%	Share No.2																																																																																																																		
フィルムコンデンサ	15-20%	Share No.2																																																																																																																		
信号系EMCフィルタ	45-50%	Share No.1																																																																																																																		
バリスタ	55-60%	Share No.1																																																																																																																		
PTCサーミスタ	50-55%	Share No.1																																																																																																																		
温度センサ	35-40%	Share No.1																																																																																																																		
磁気センサ	20-25%	Share No.3																																																																																																																		
MEMSモーションセンサ	15-20%	Share No.3																																																																																																																		
HDDヘッド	15-20%	Share No.3																																																																																																																		
HDD用サスペンション	40-45%	Share No.2																																																																																																																		
小型二次電池	50-60%	Share No.1																																																																																																																		
産業機器向け電源	10-15%	Share No.1																																																																																																																		
Products	<p>コンデンサ 積層セラミックチップコンデンサ アルミ電界コンデンサ、フィルムコンデンサなど</p> <p>インダクティブデバイス SMD電源系インダクタ、信号系EMCフィルタ、トランス、フェライトコアなど</p> <p>その他受動部品 高周波部品(高周波フィルタなど)、 圧電材料部品・回路保護部品(バリスタ、アレスタなど)</p>	<p>センサ 温度センサ、圧力センサ、 磁気センサ(Hallセンサ、TMRセンサ) MEMSセンサ(MEMSモーションセンサ、 MEMSマイクロフォン)</p>	<p>HDD関連デバイス HDD用ヘッド、HDD用サスペンションなど</p> <p>マグネット 小型モータ用フェライトマグネット、 xEV駆動モータ用ネオジウムマグネット、 産業機器モータ用ネオジウムマグネットなど</p>	<p>エネルギーデバイス 小型二次電池(スマートフォン用、タブレット端末・ノートパソコン用、ウェアラブル端末用、ゲーム機用など) 中型二次電池(家庭用蓄電システム用、商業用蓄電システム用、電動二輪車用、ドローン用、パワーツール用)</p> <p>電源 プログラマブル電源(直流、交流)、スイッチング電源(AC-DC、DC-DC)、双方向DC-DCコンバータ、車載用DC-DCコンバータなど</p>																																																																																																																

AIサーバー向け高電圧対応、低電圧大電流部品の販売増

	AC High Voltage	DC High Voltage	DC Low Voltage						
	PW Grid	UPS *	PSU **	GPU Base Board	Accelerator	GPU package			
	AC >	AC ~240V	400Vdc-or 800Vdc	48V	12V	<1V	<1V in Package		
Capacitors	<p>Ultra High Voltage</p> 	<p>High Voltage</p> <p>Aluminum Snap-in & Screw</p> 	<p>FILM</p>  <p>MLCC</p> 	<p>Hybrid Polymer</p>  <p>MLCC</p> 	<p>MLCC</p> 	<p>Polymer</p>  <p>MLCC</p> 	<p>MLCC</p>  <p>Ultra Low-Profile</p>  <p>Reversed Geometry type</p> 		
Inductors Transformers EMC	<p>Reactor</p> 	<p>Ferrite Core</p>  <p>Power-use inductor</p> 	<p>Pulse Transformer</p> 	<p>Power-use inductor</p>  <p>Chip Beads</p> 	<p>Power-use inductor</p> 	<p>Power-use inductor</p> 			
				Optical Transceiver Module					
					<p>Inductor</p> 	<p>μPoL™ DCDC module</p> 	<p>Chip NTC Thermistors</p> 	<p>AlN Sub.</p> 	<p>Thin-Film Capacitor</p> 

TDKのスピントロニクス技術



スピン + エレクトロニクス

||

スピントロニクス

電子のもつ磁気と電気的特性を同時に使う技術

“スピン”とは磁石の最小構成単位であり、全ての電子はスピンを有する



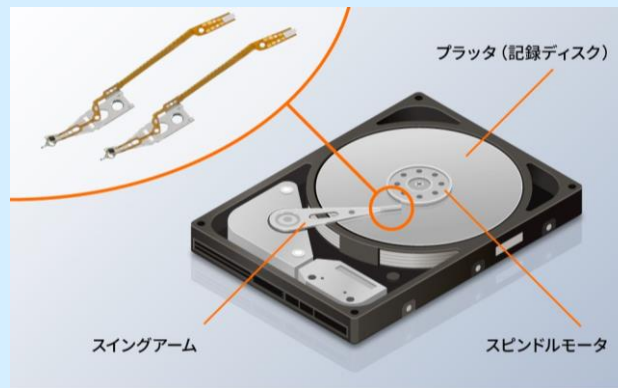
上向きスピン



下向きスピン

両方の“差”が磁石の強さ

TDKのスピントロニクス技術の応用例

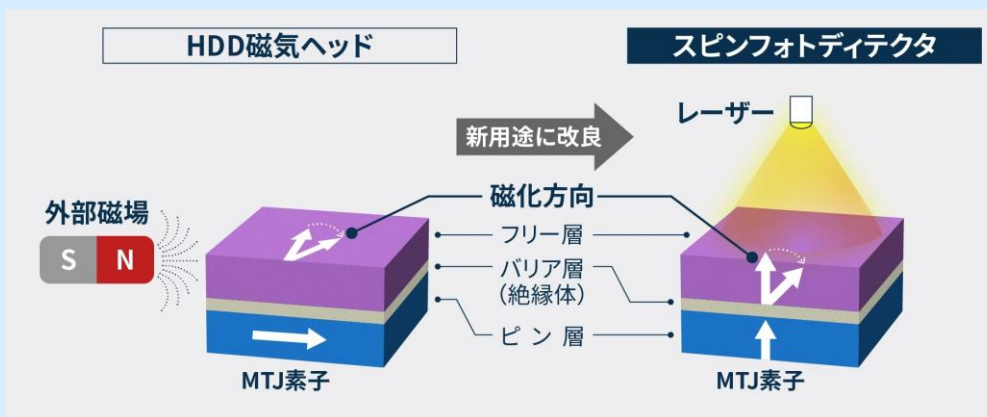


◀ HDD用磁気ヘッド



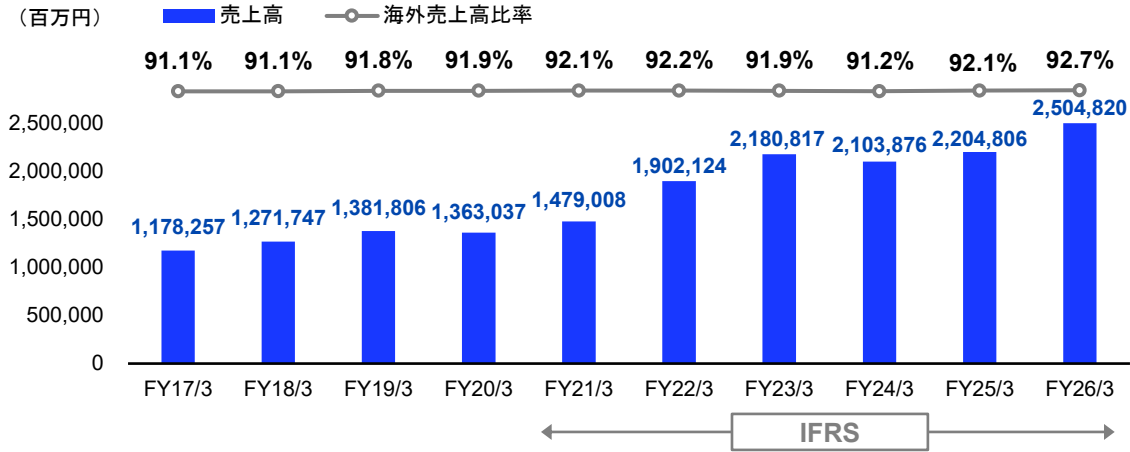
TMRセンサ ▶

▼ スピンフォトディテクタ

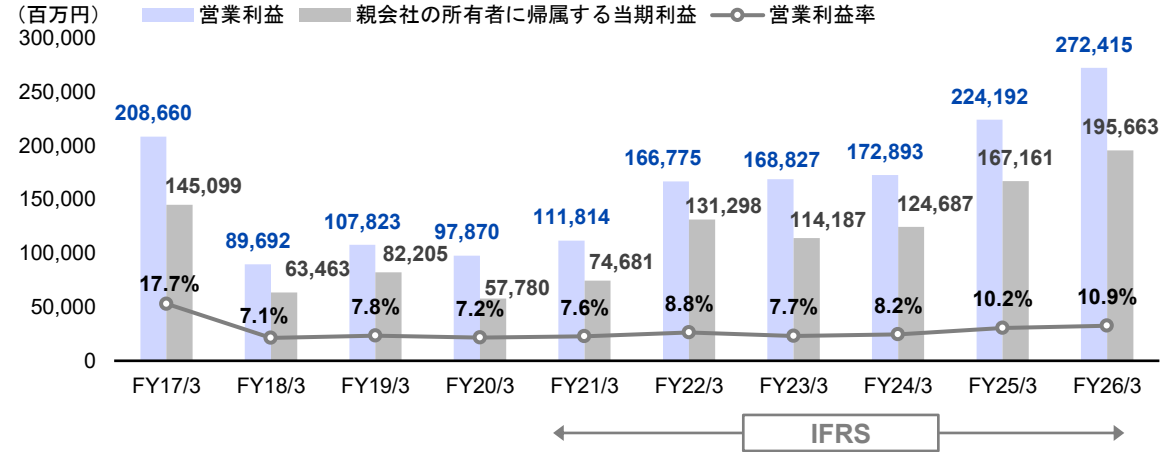


業績ハイライト 過去10年推移

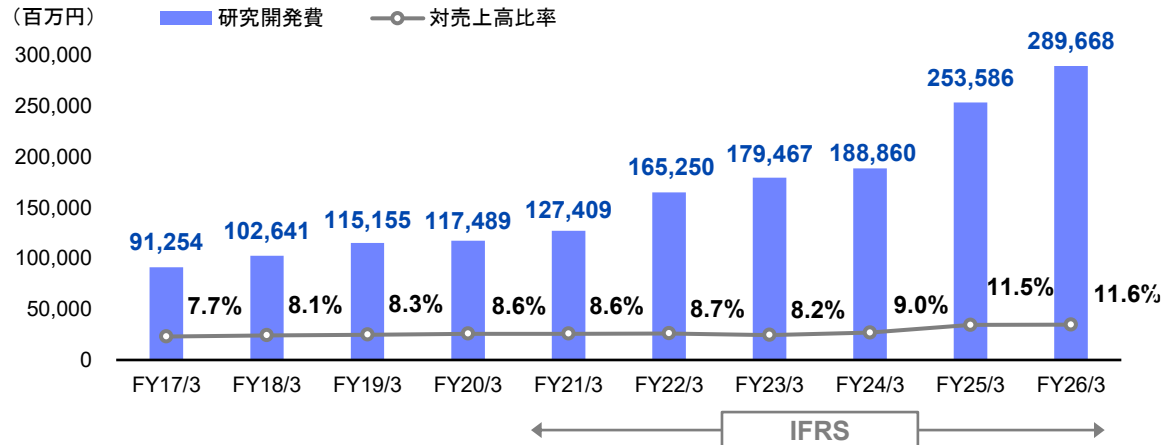
売上高・海外売上高比率



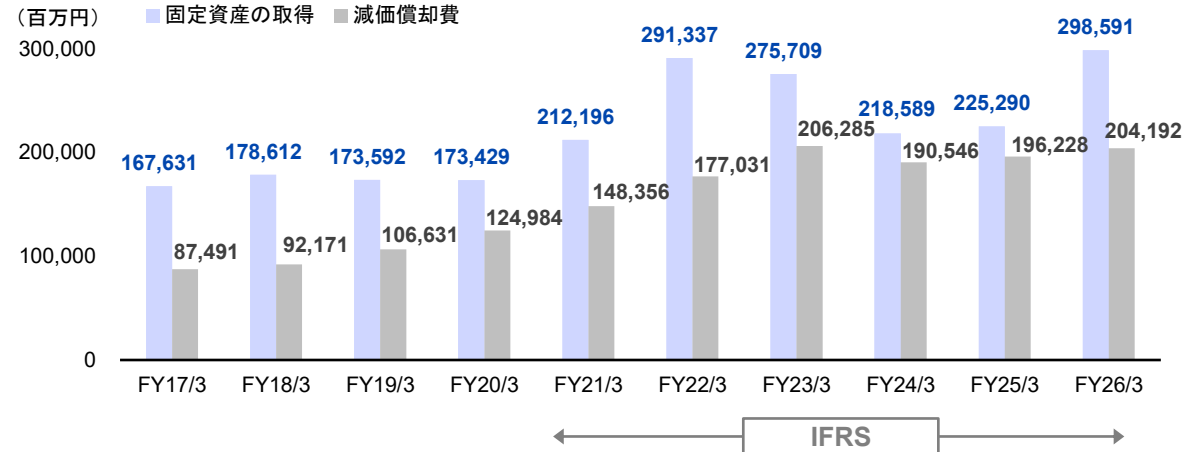
営業利益・営業利益率・親会社の所有者に帰属する当期利益



研究開発費・対売上高比率

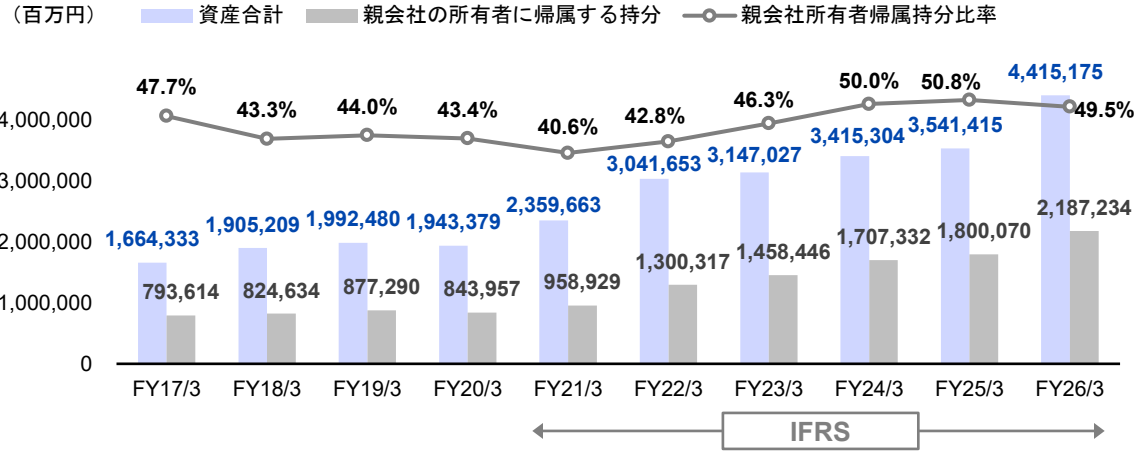


固定資産の取得・減価償却費

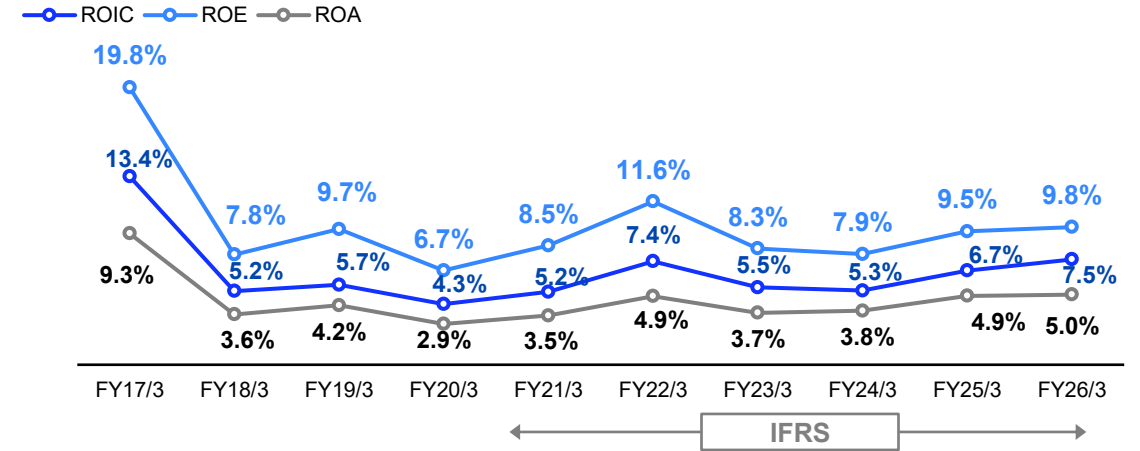


業績ハイライト 過去10年推移

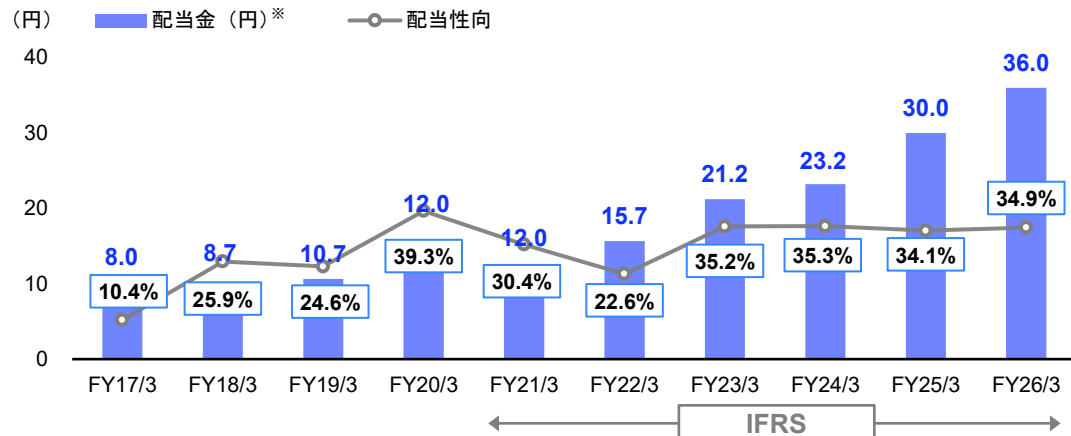
資産合計・親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者帰属持分比率



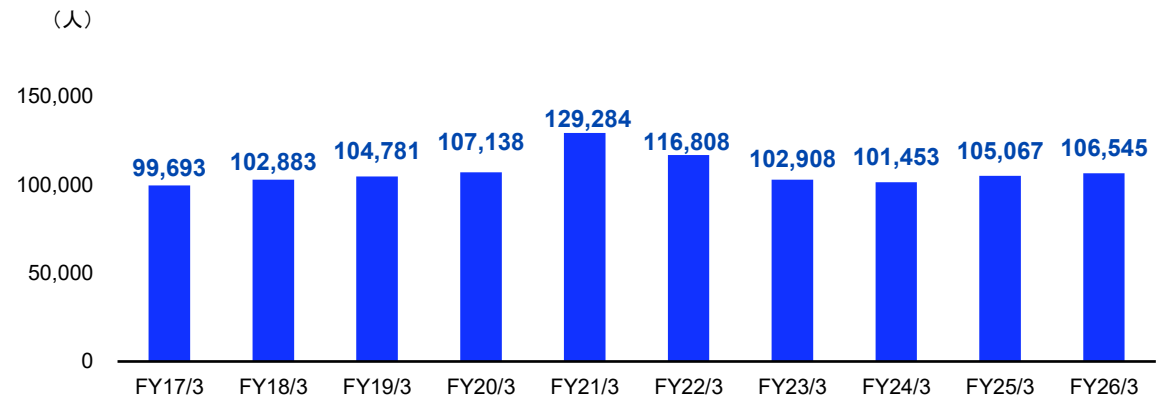
ROIC・ROE・ROA



配当金・配当性向



従業員数



*配当金は、2024年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行った換算後の金額を記載しています。

インデックスへの組み入れ・外部機関からの評価

インデックス



JPXプライム150指数



FTSE4Good
Index Series



FTSE Blossom
Japan Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



MSCI Selection
Indexes ※1

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数 ※2



Morningstar Japan
ex-REIT Gender
Diversity Tilt Index



S&P/JPXカーボン
エフィシエント
指数

※1,2 THE INCLUSION OF TDK CORPORATION IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF TDK CORPORATION BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

外部機関からの評価



IR優良企業賞 (2025)



Extel Japan Executive
Team Survey
Most Honored Company
(2025, 2026)



WICIジャパン
統合レポート・アワード
Gold Award (2024, 2025)



日経統合報告書アワード
優秀賞
(2022-2025)



S&P Global Sustainability
Yearbook Member
(2020-2025)



CDP気候変動 A (2024)
CDP水セキュリティ対策
A (2020-2024)



CDPサプライヤー・
エンゲージメント・リーダー
(2020-2024)



Ecovadis Sustainability
Rating
PLATINUM (2025)



SX銘柄2025



健康経営優良法人
(大規模法人部門)
(2023-2025)



work with Pride
Gold (2024)



Clarivate Top 100
グローバル・イノベーター
(11回目)

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。

